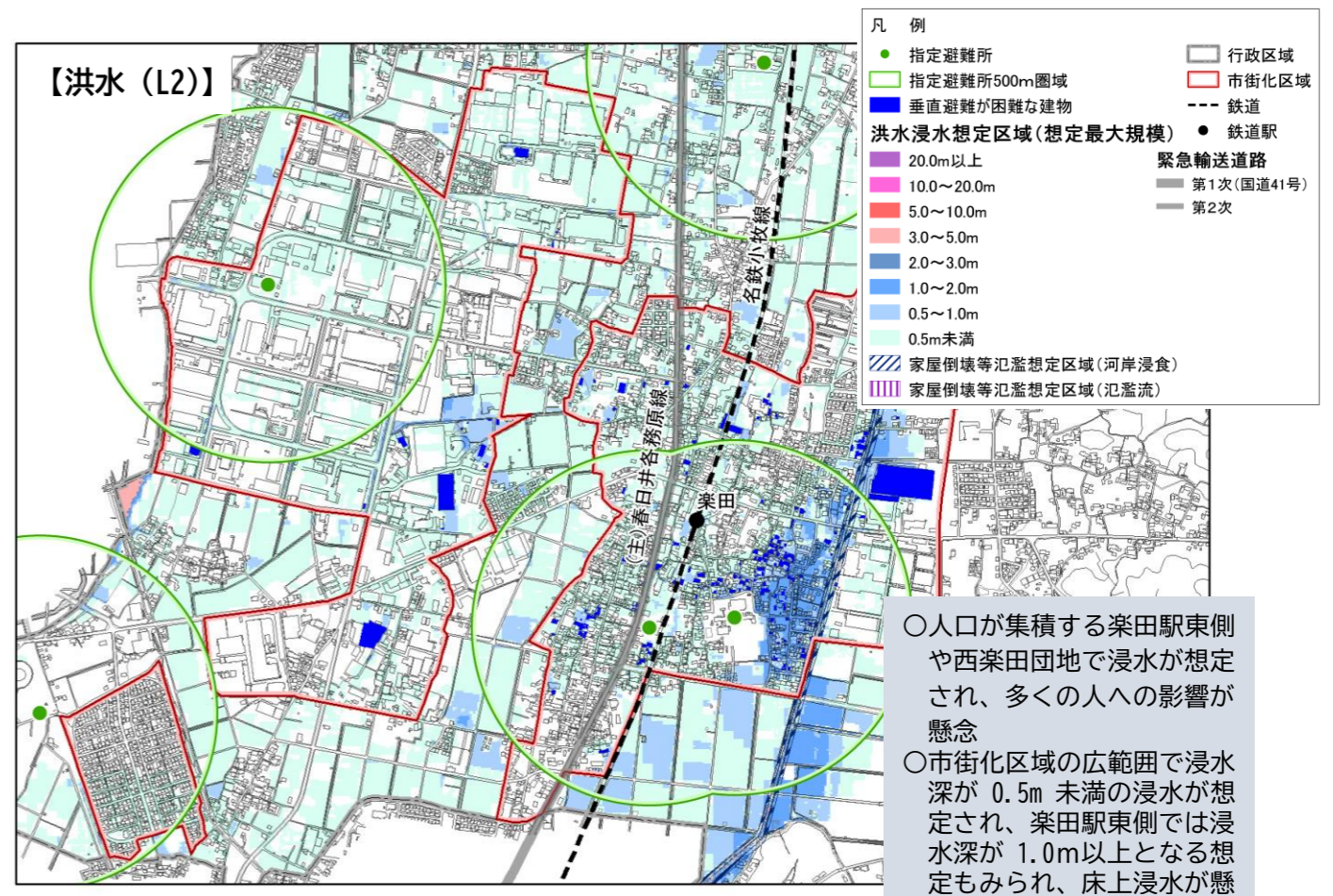
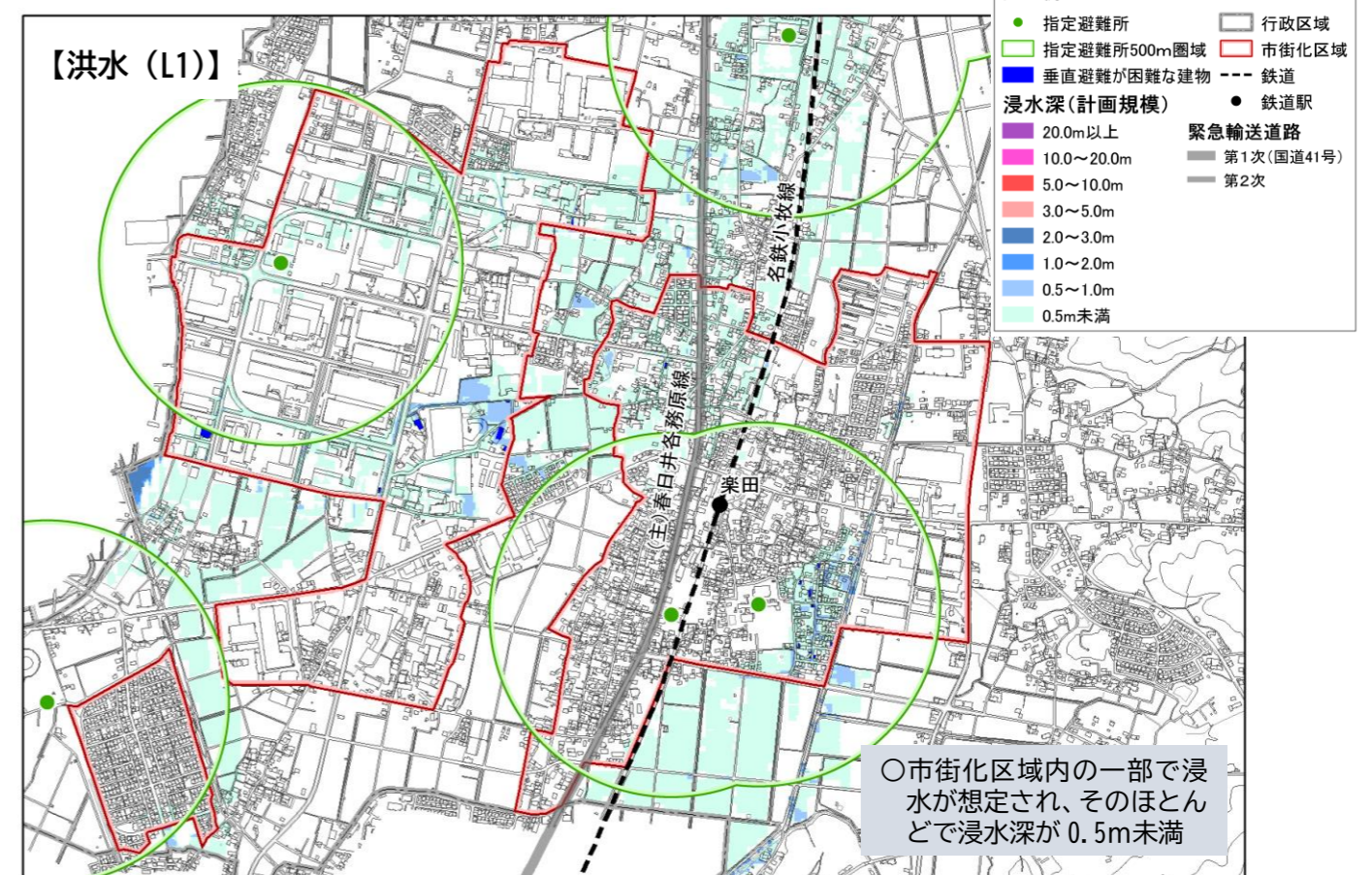
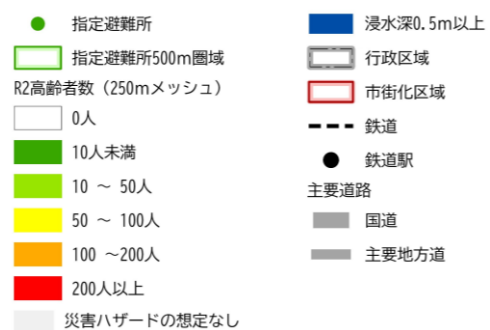
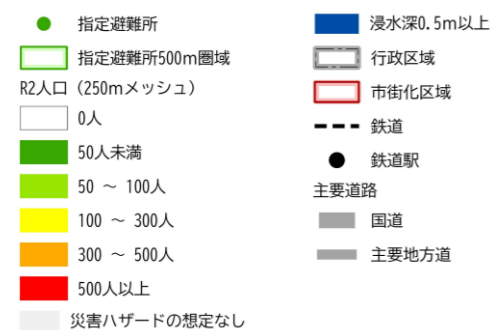
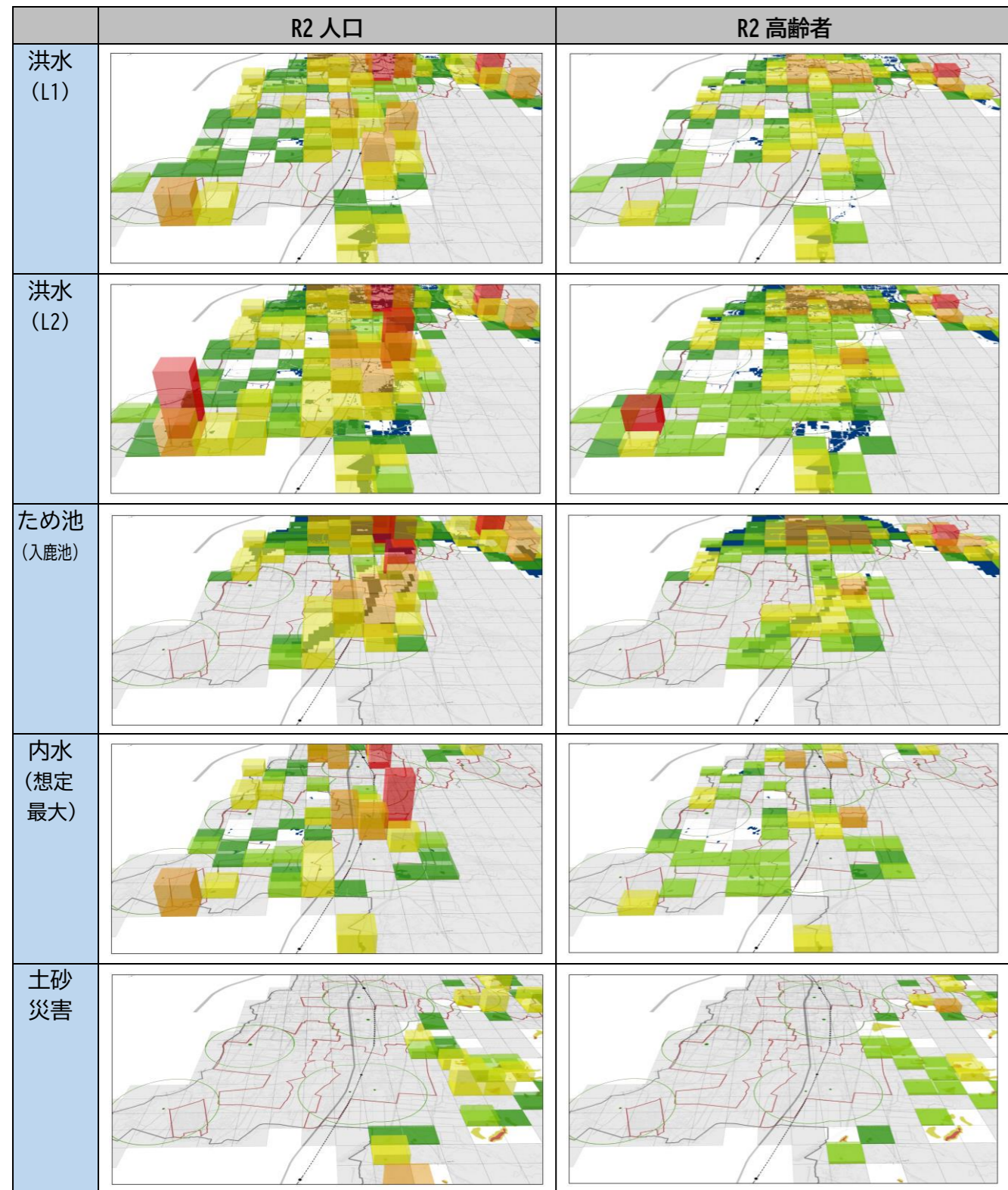
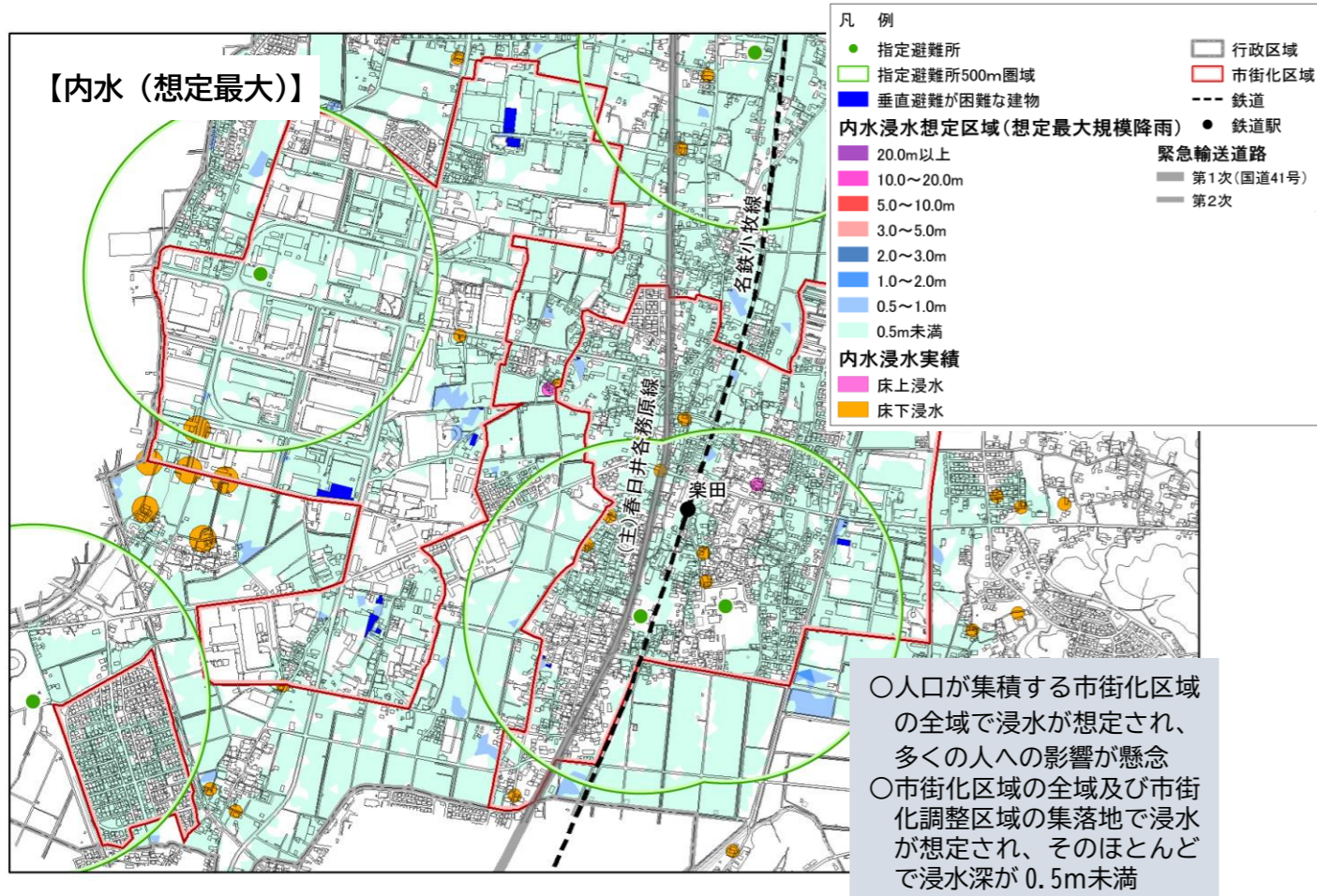
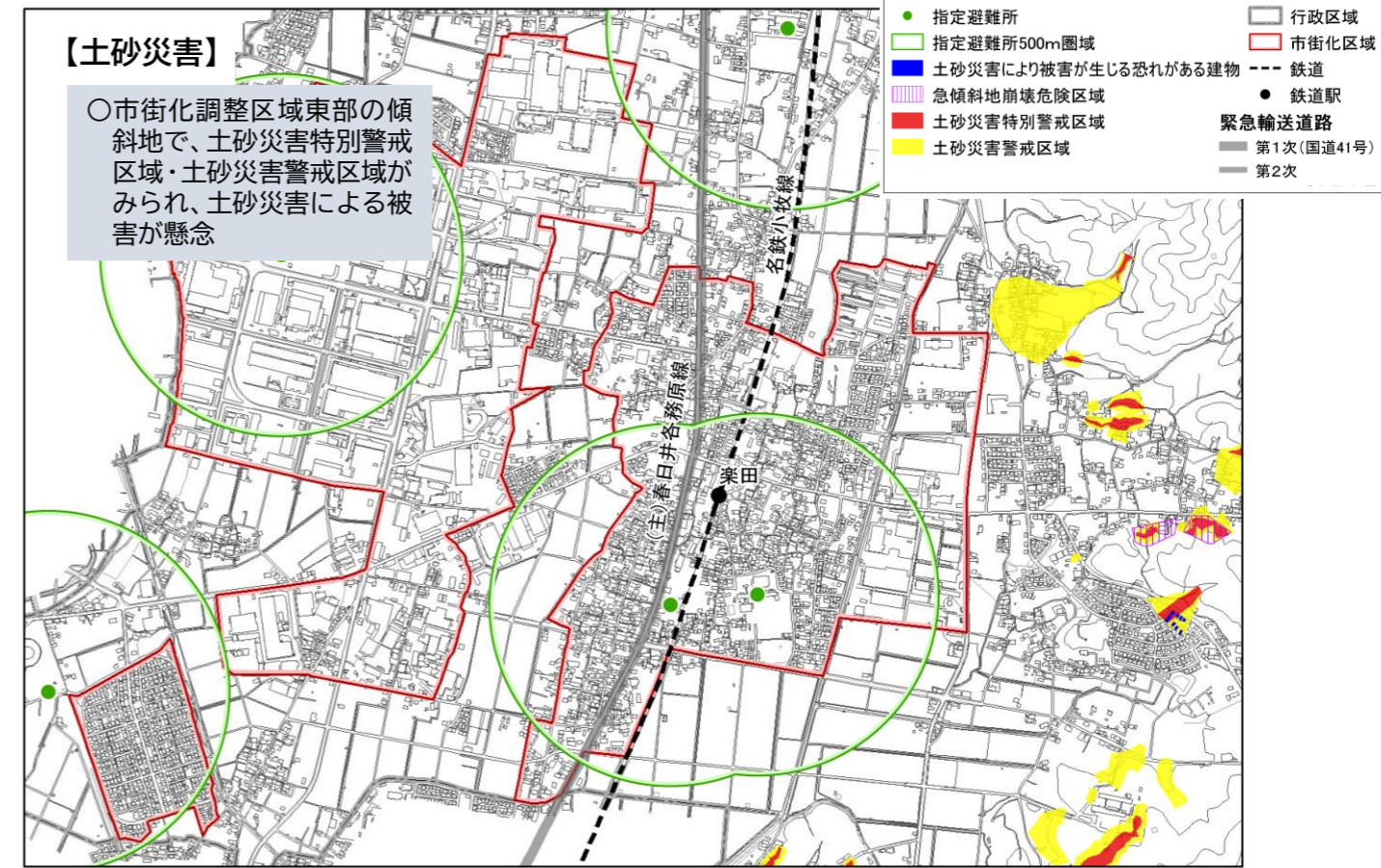
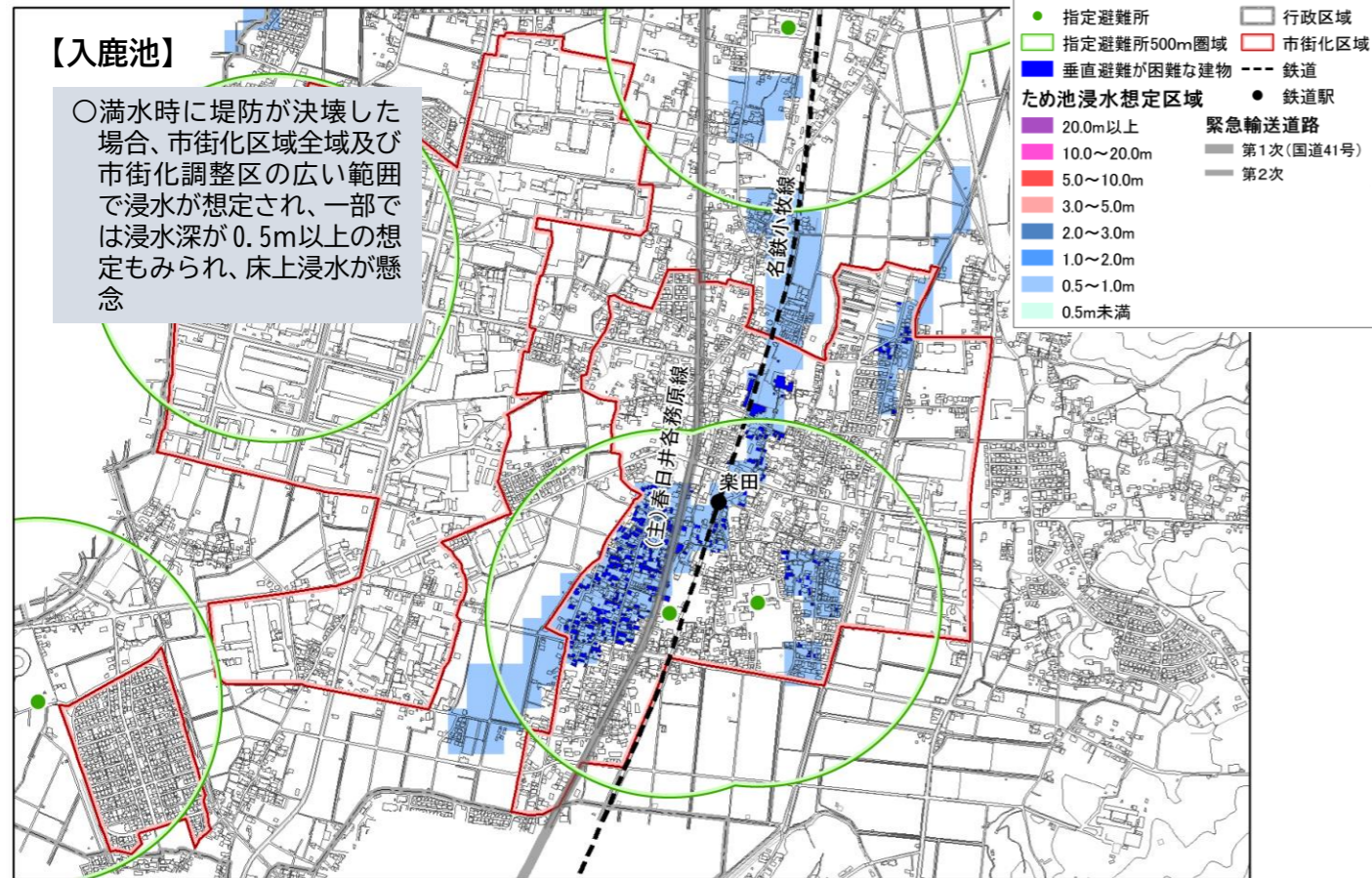
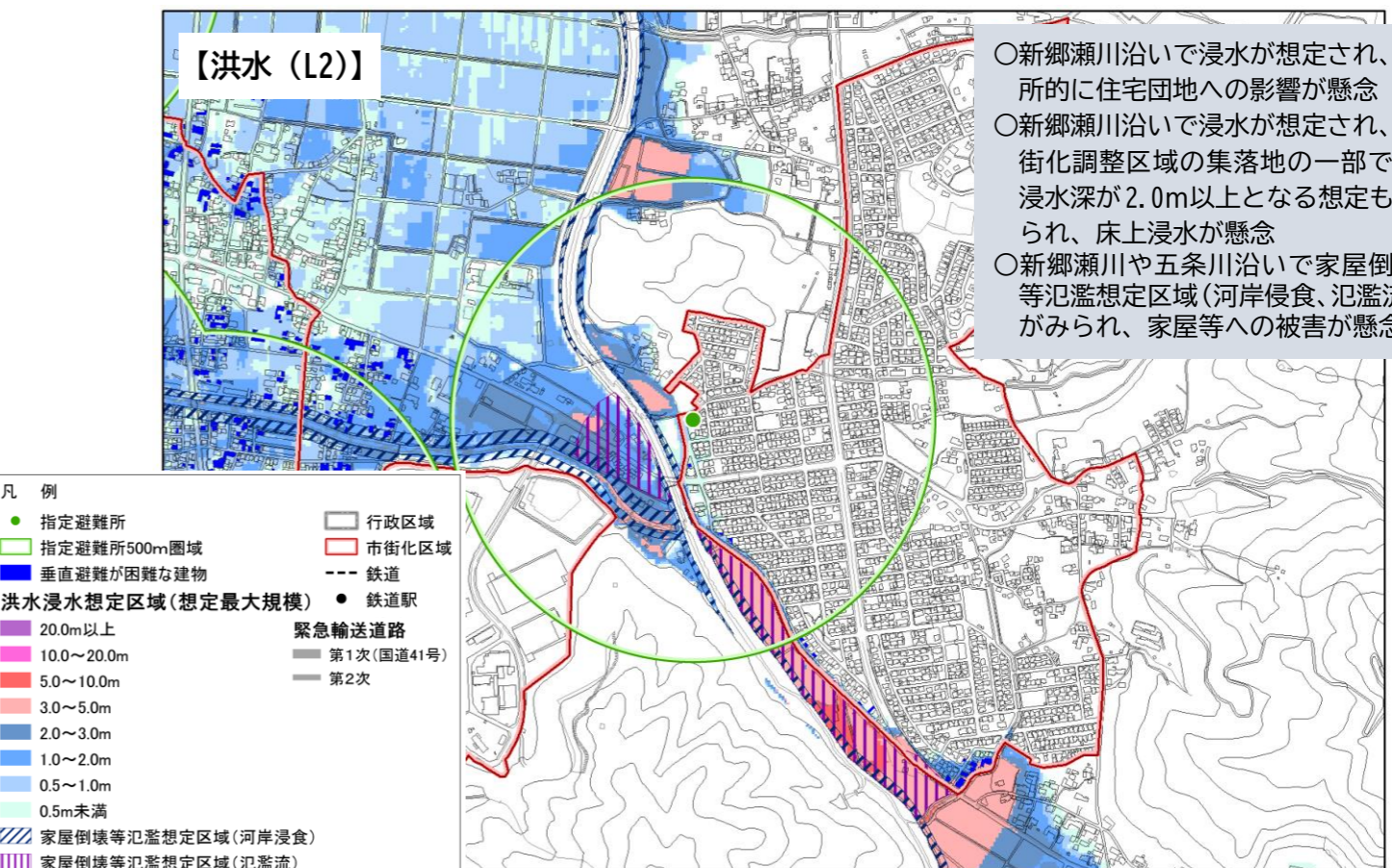
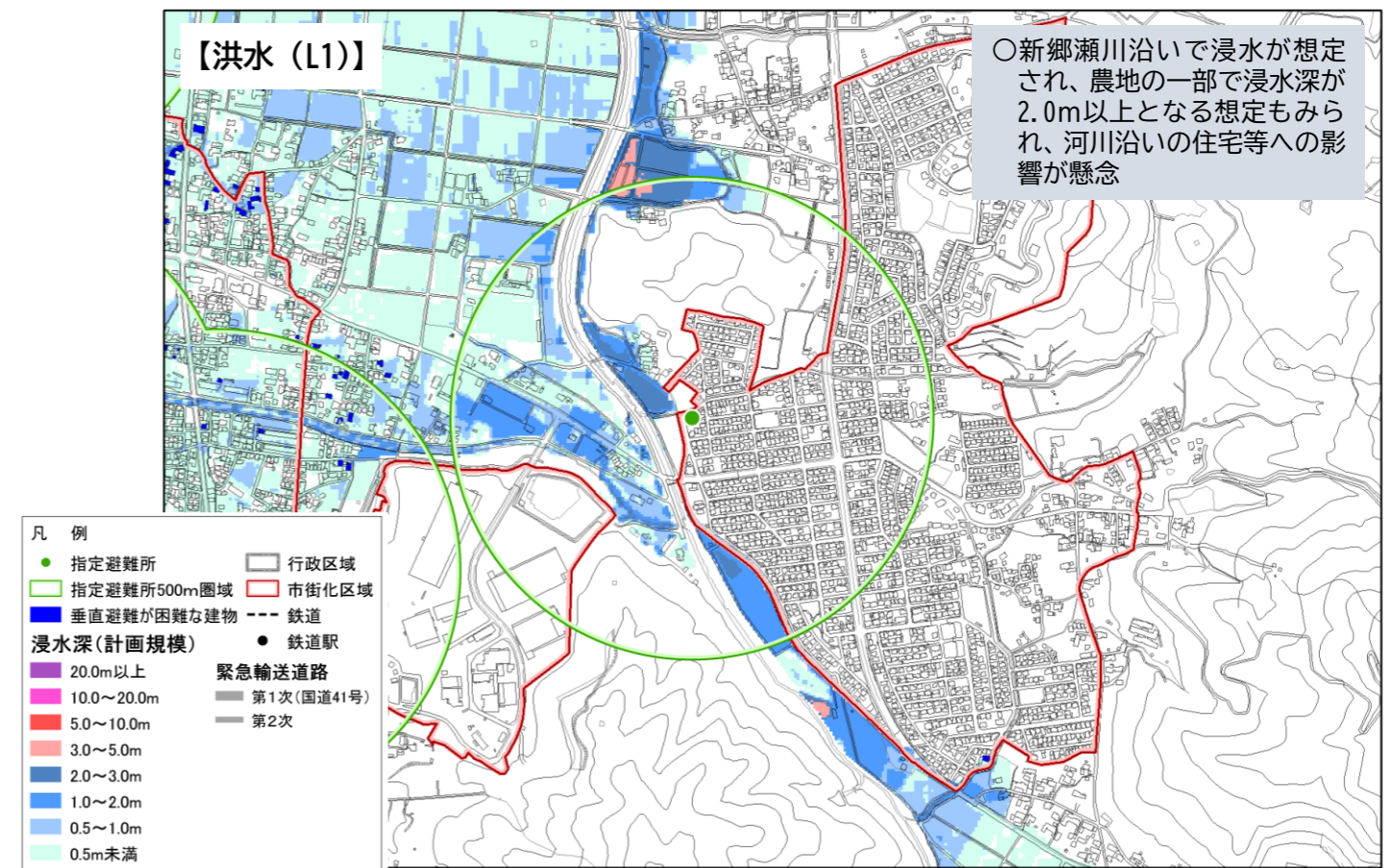
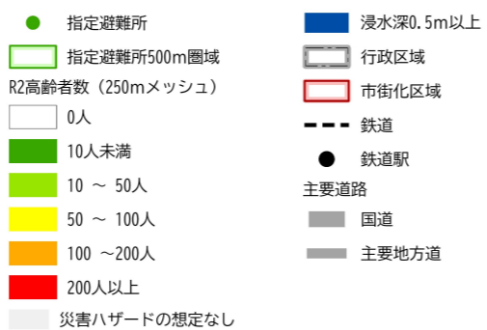
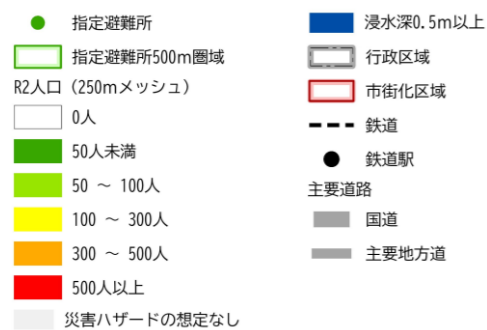
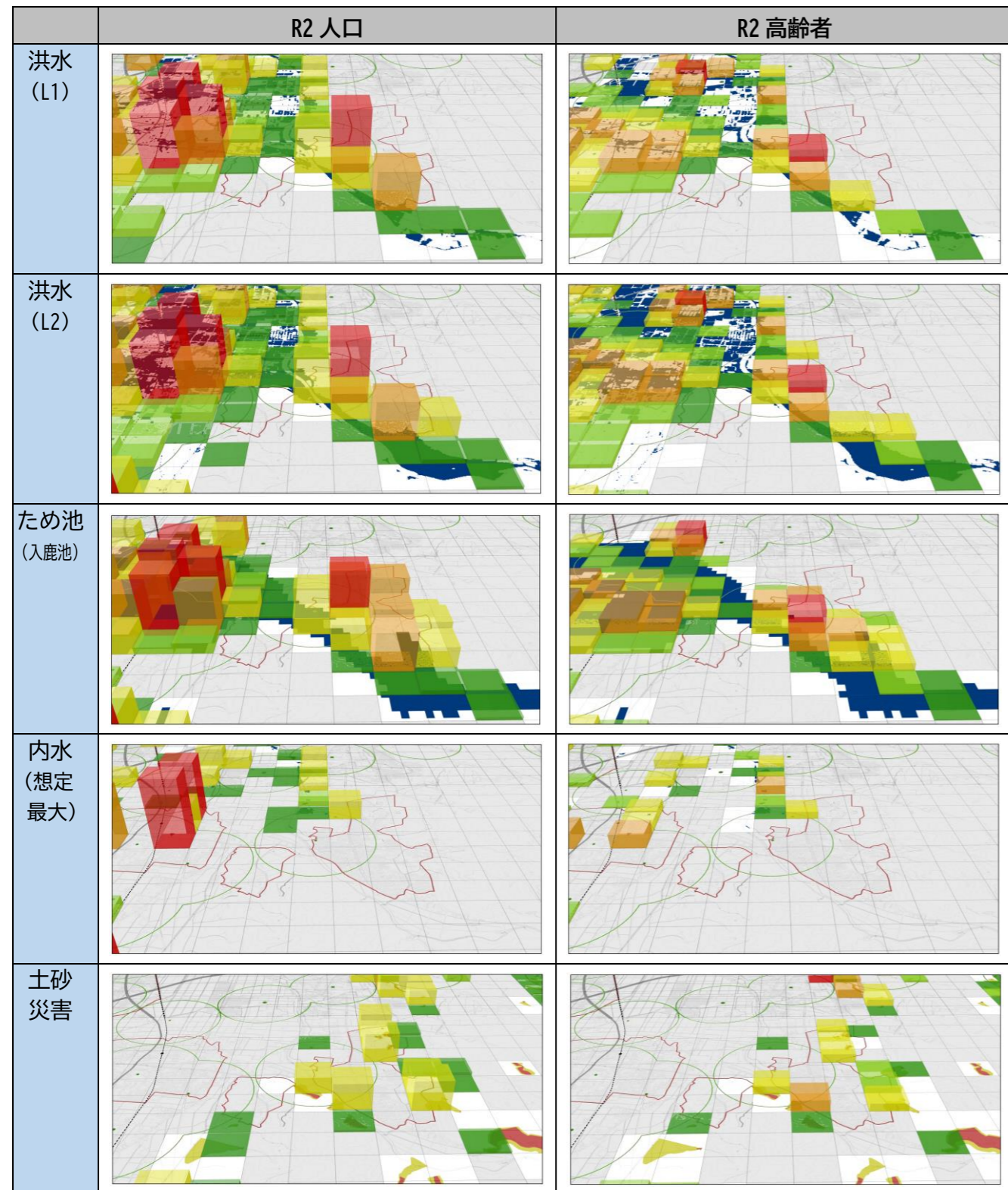


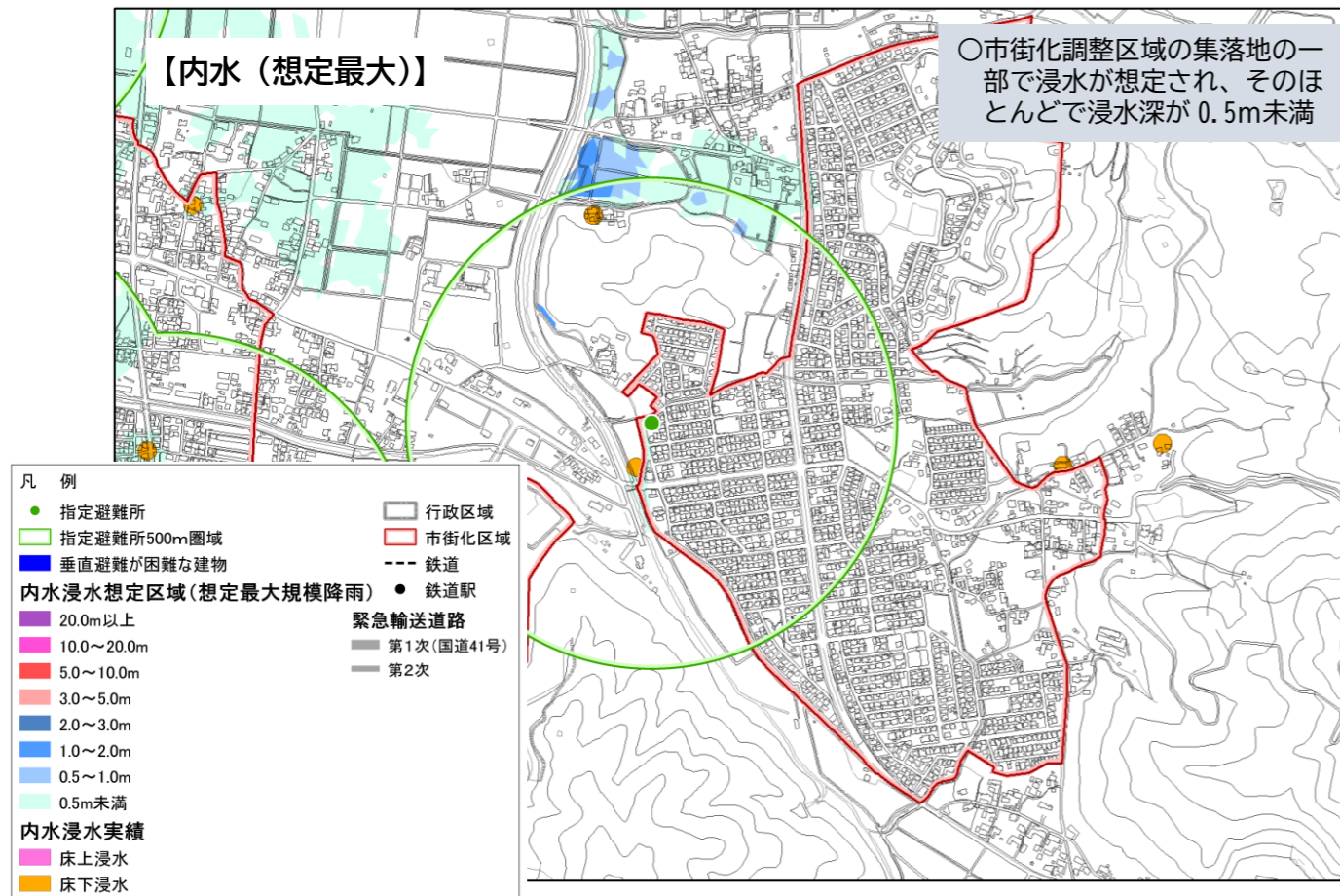
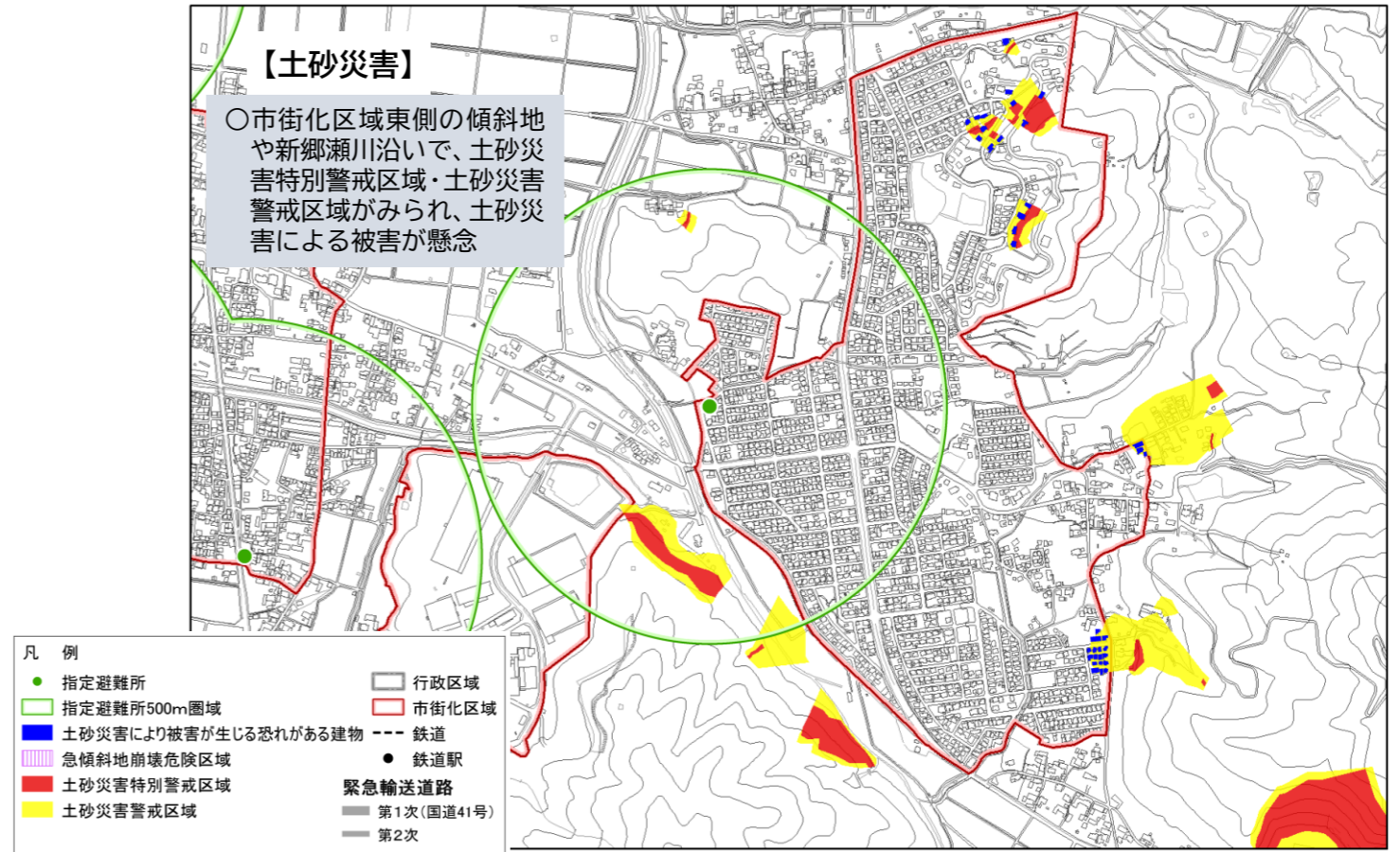
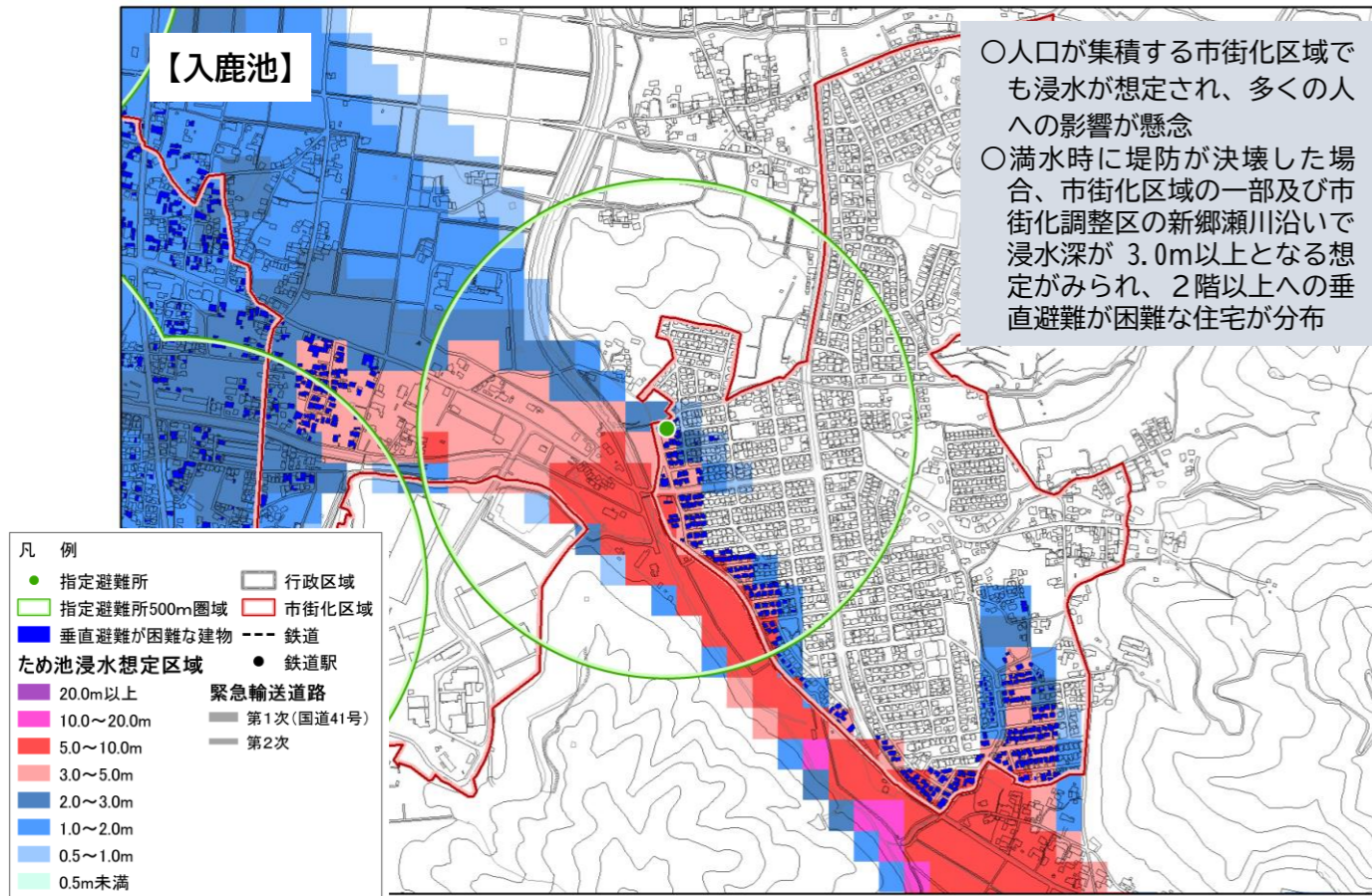
⑤楽田地区



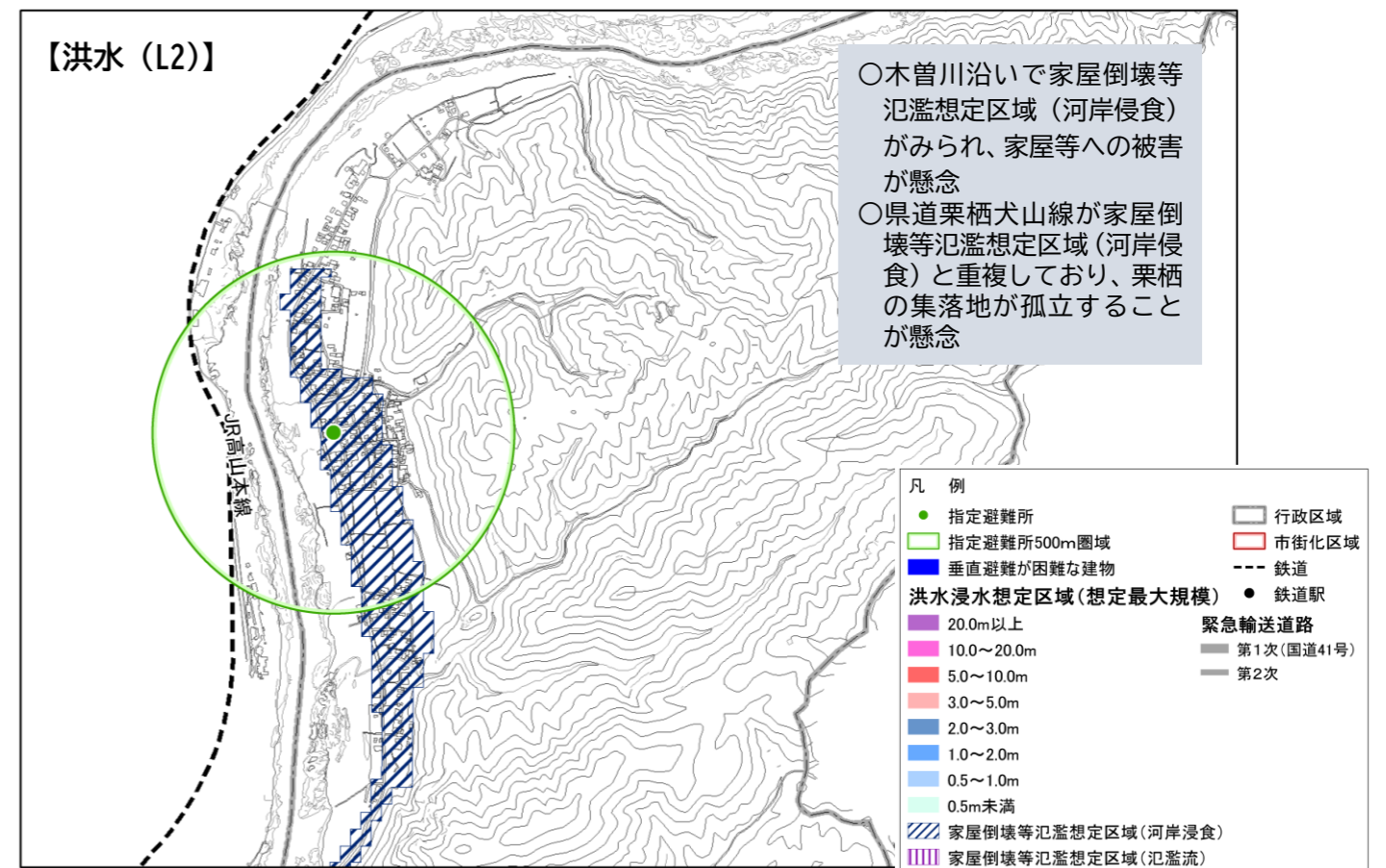
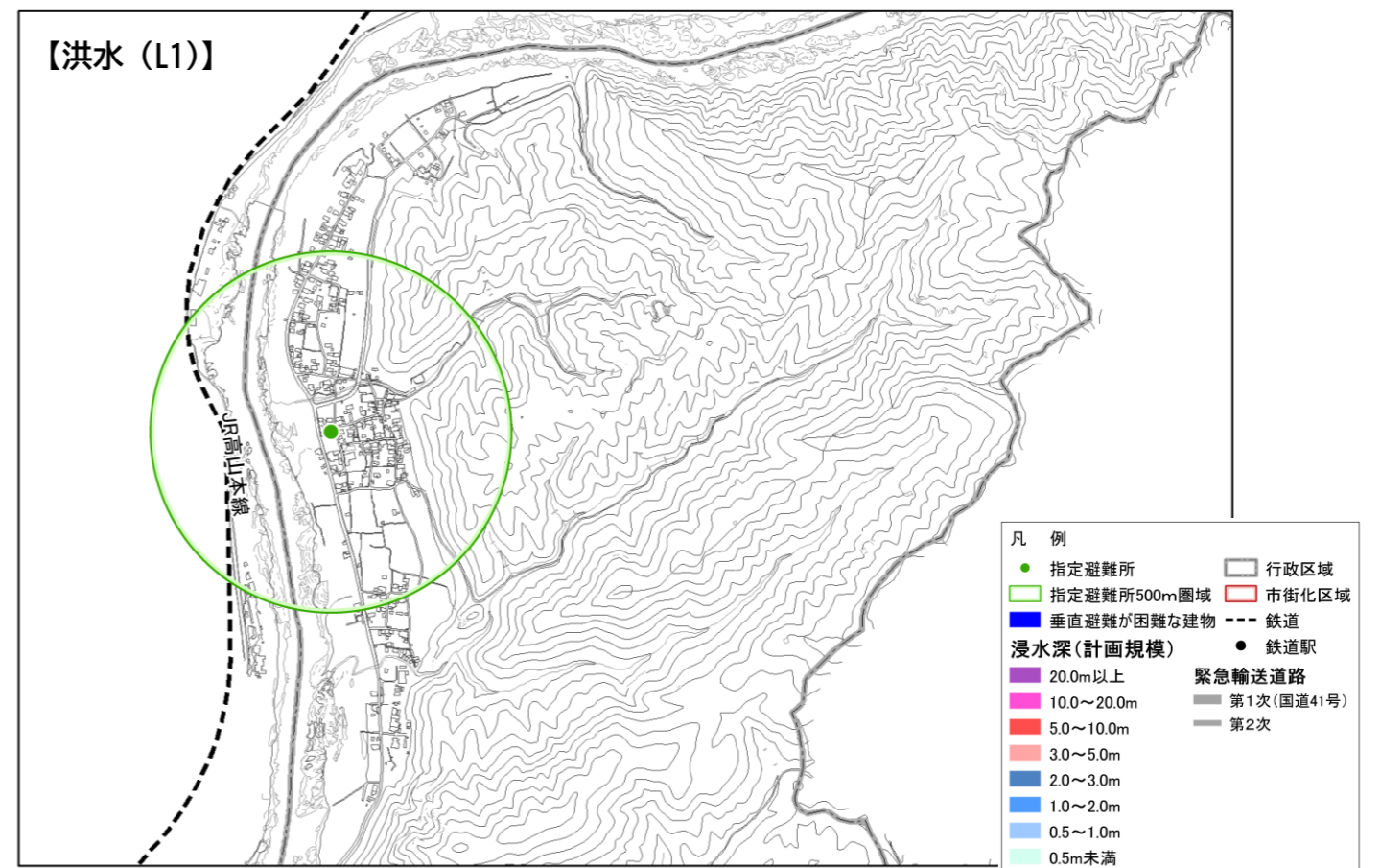
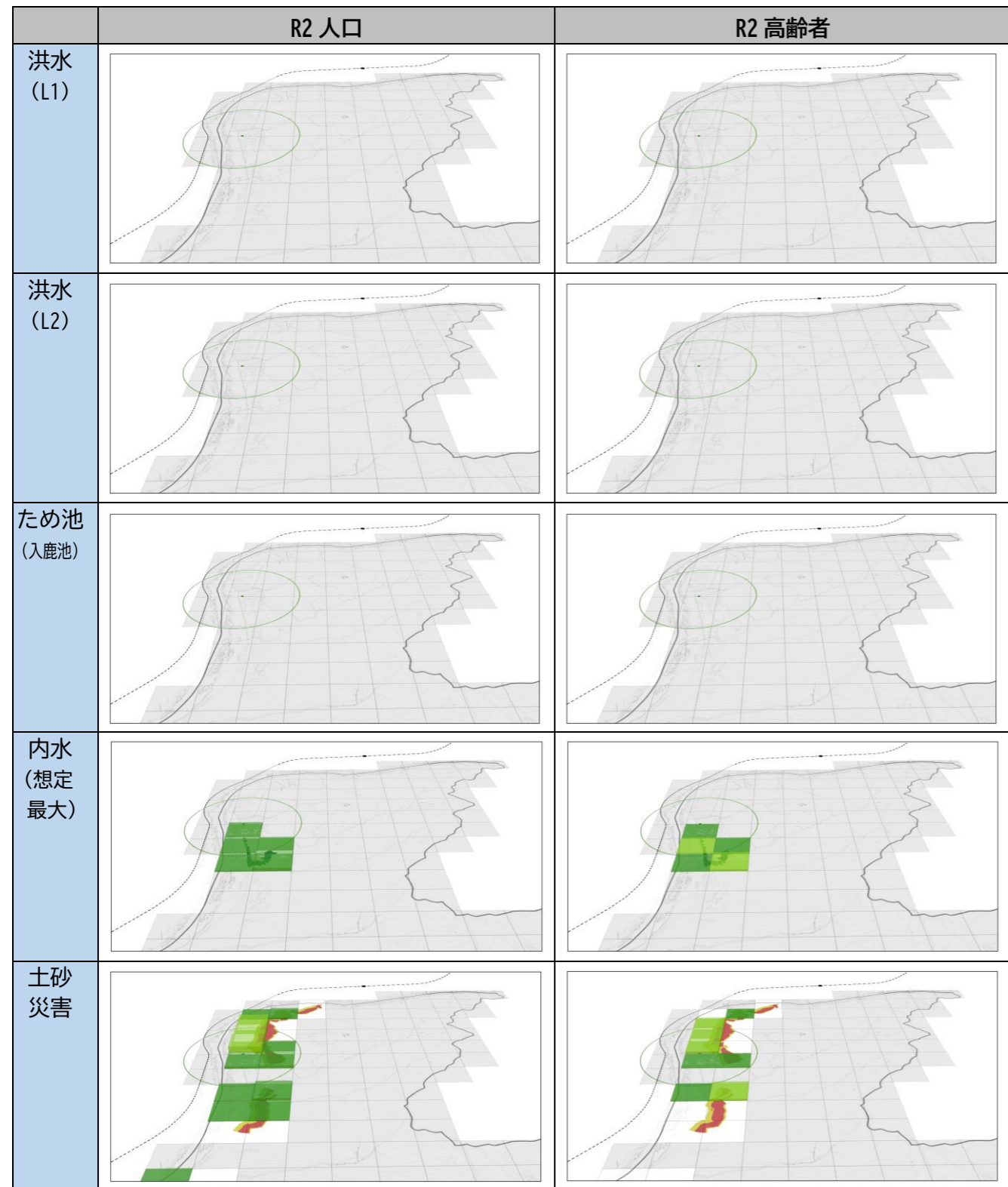


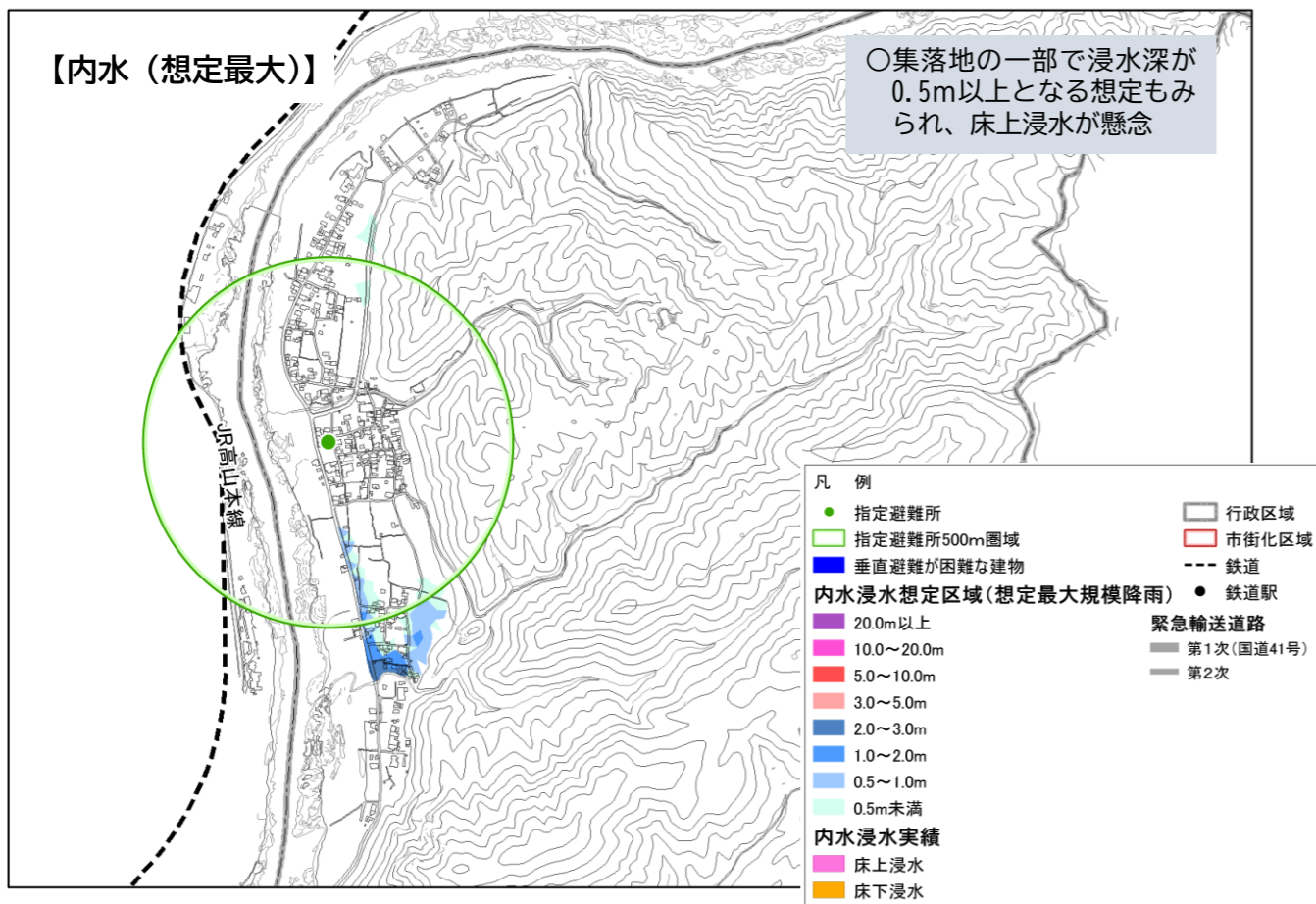
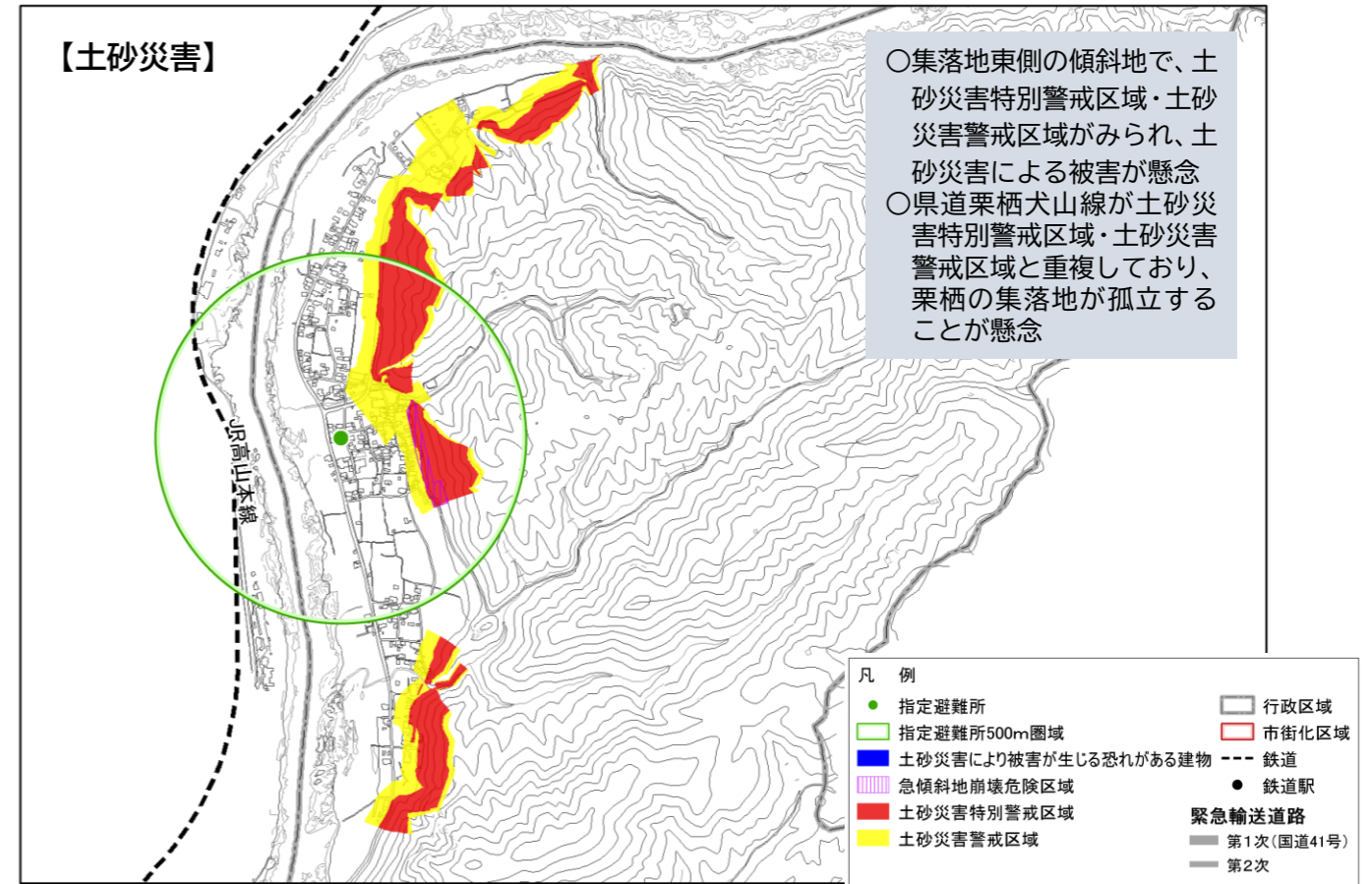
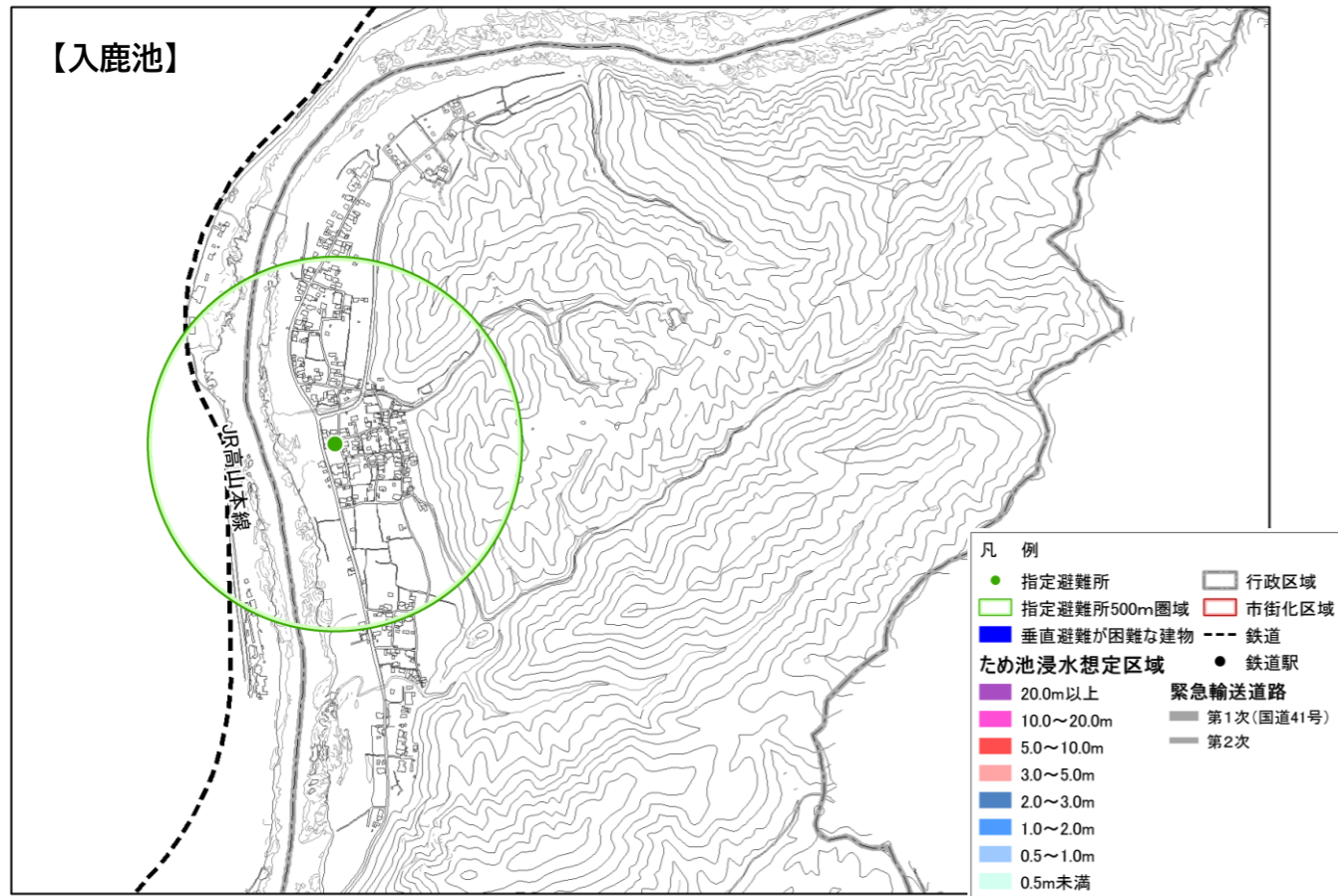
⑥ 緑ヶ丘・長者町地区



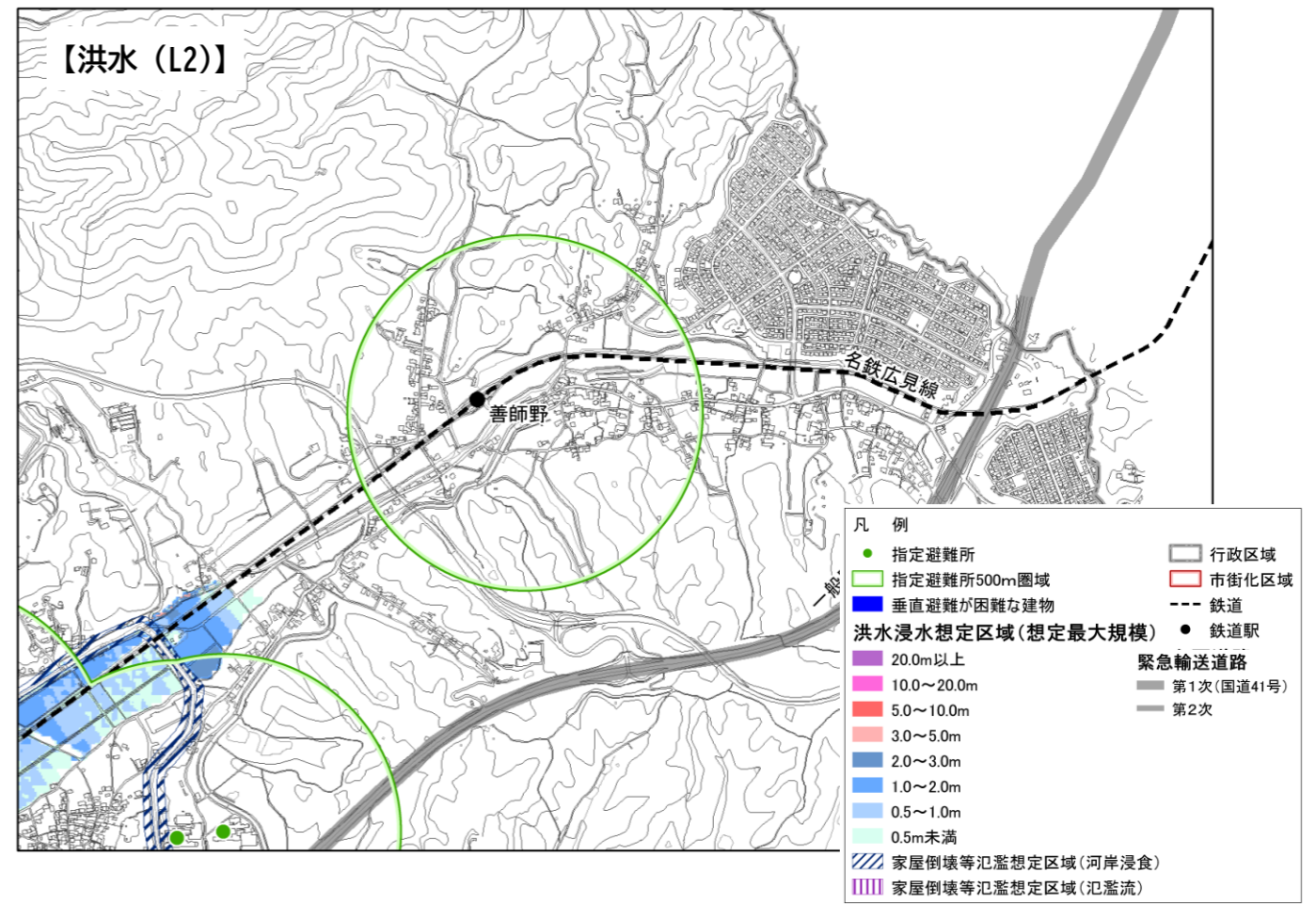
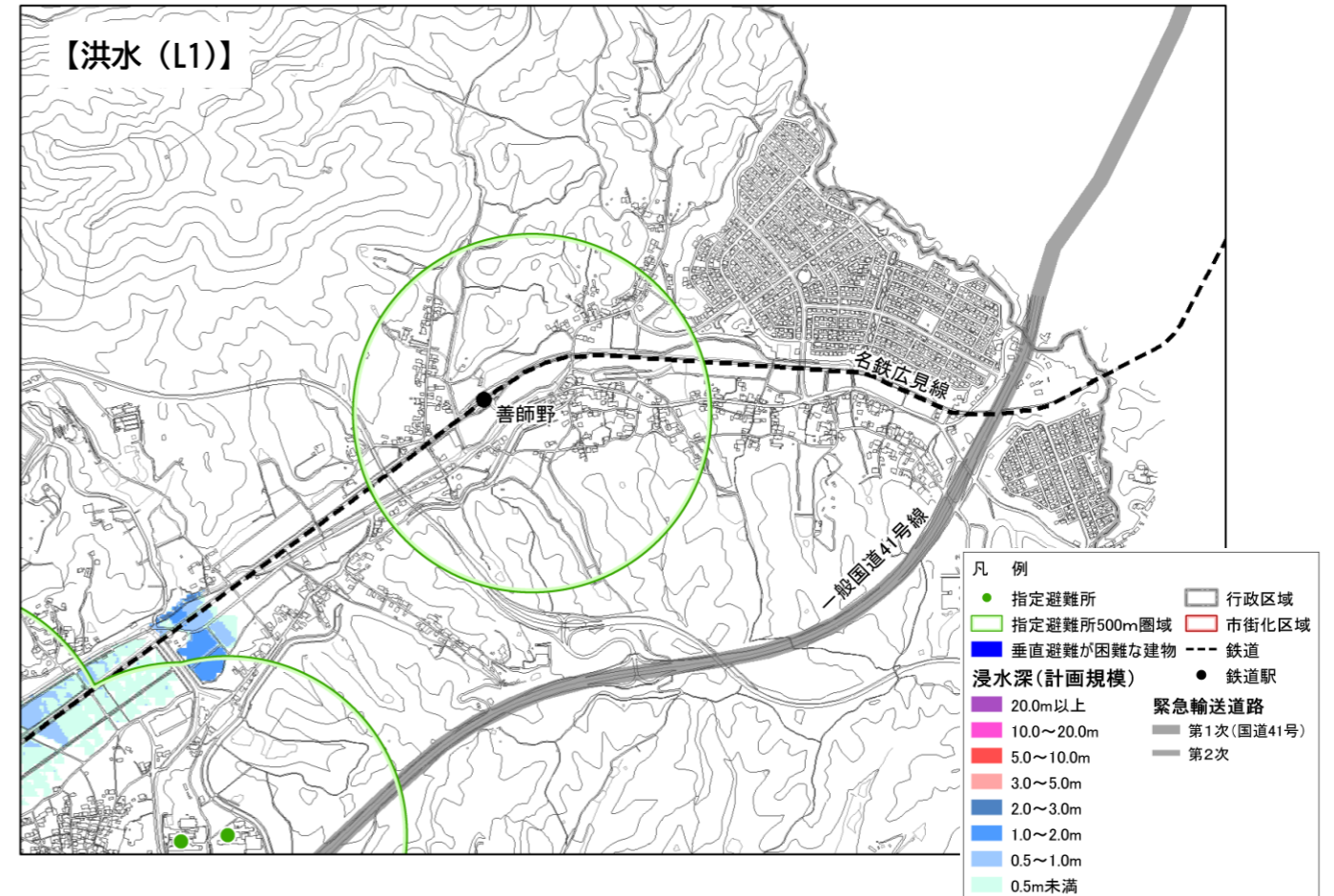
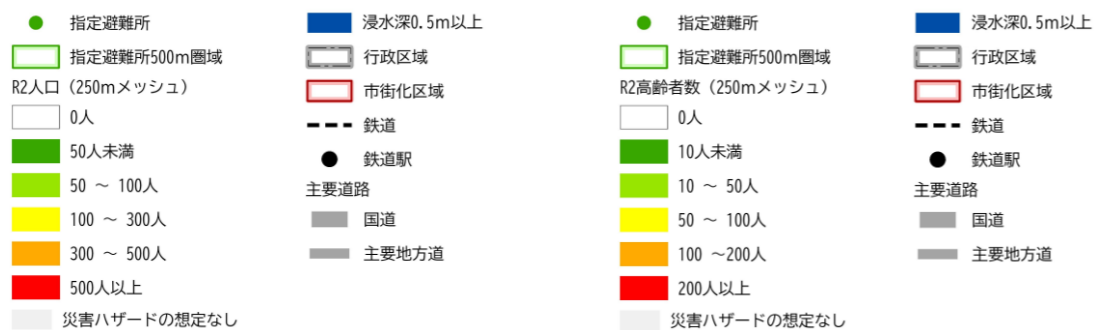
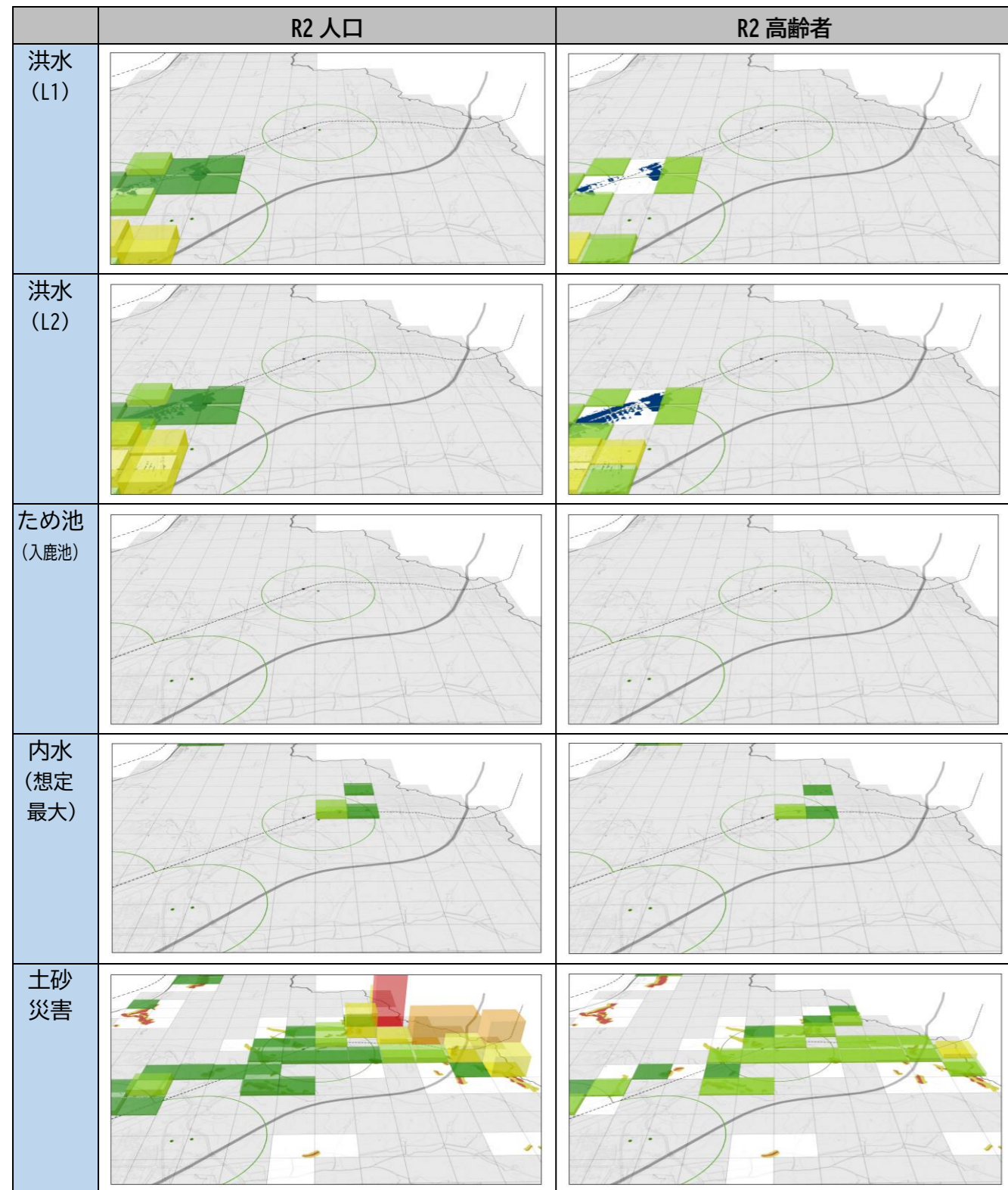


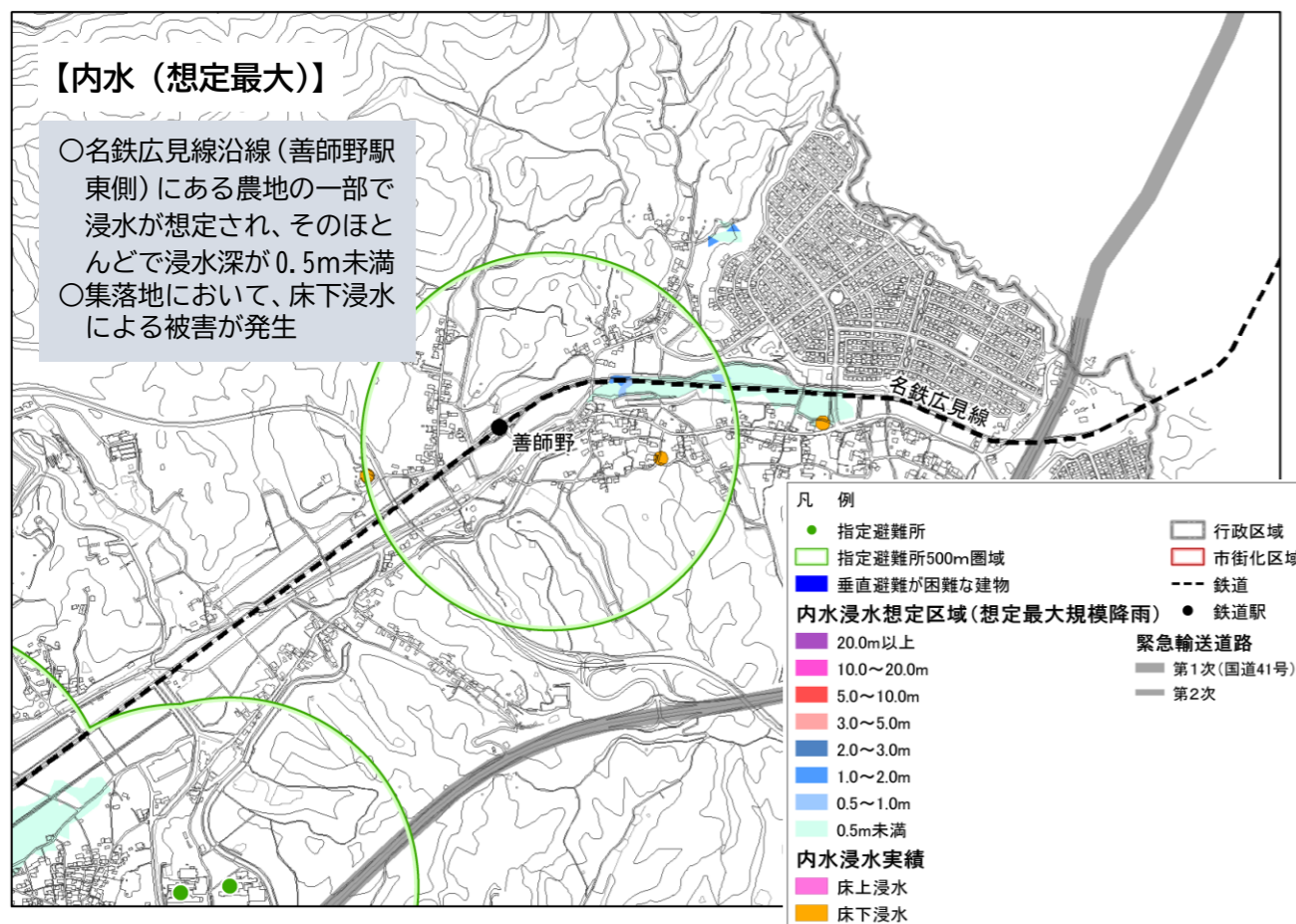
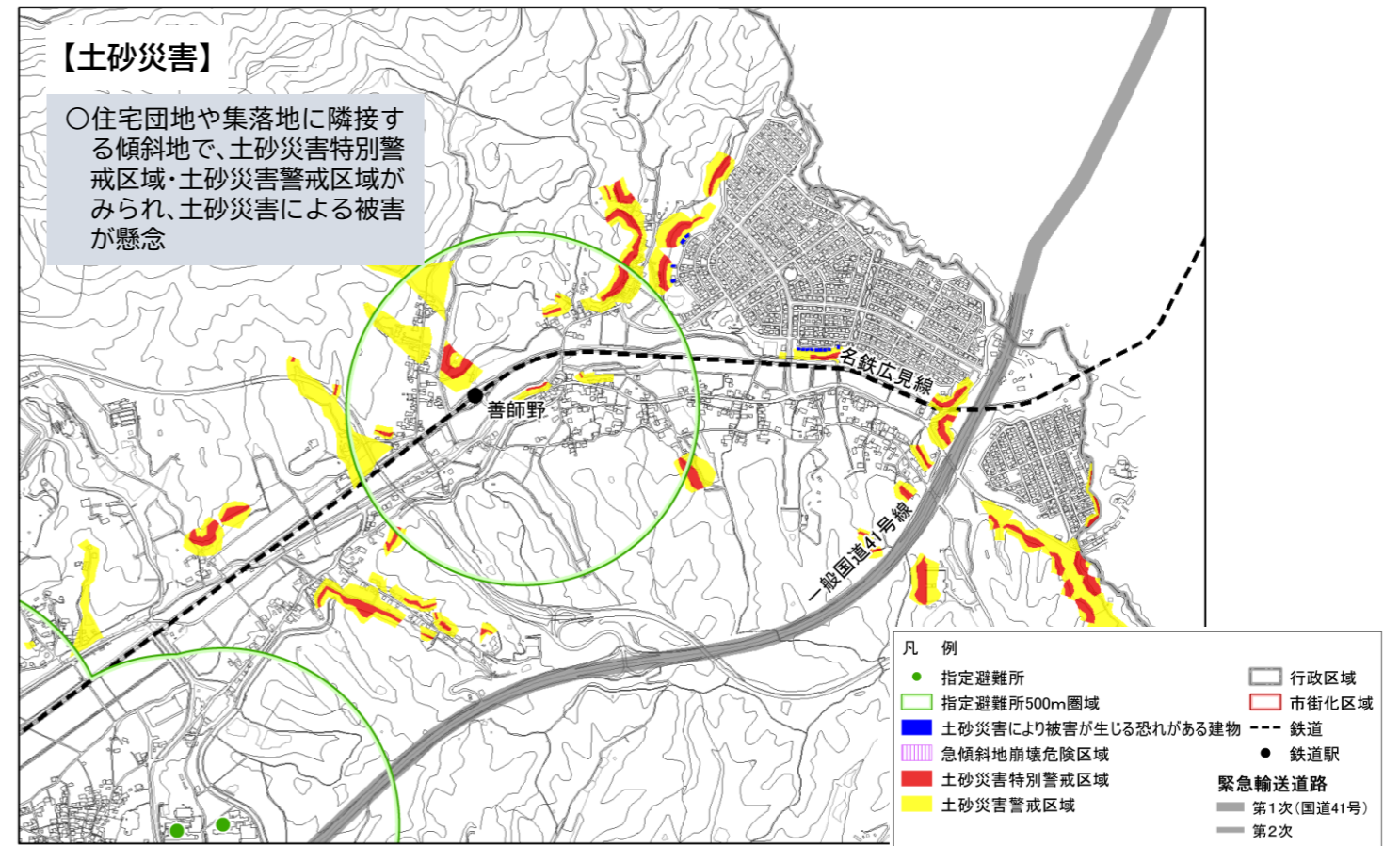
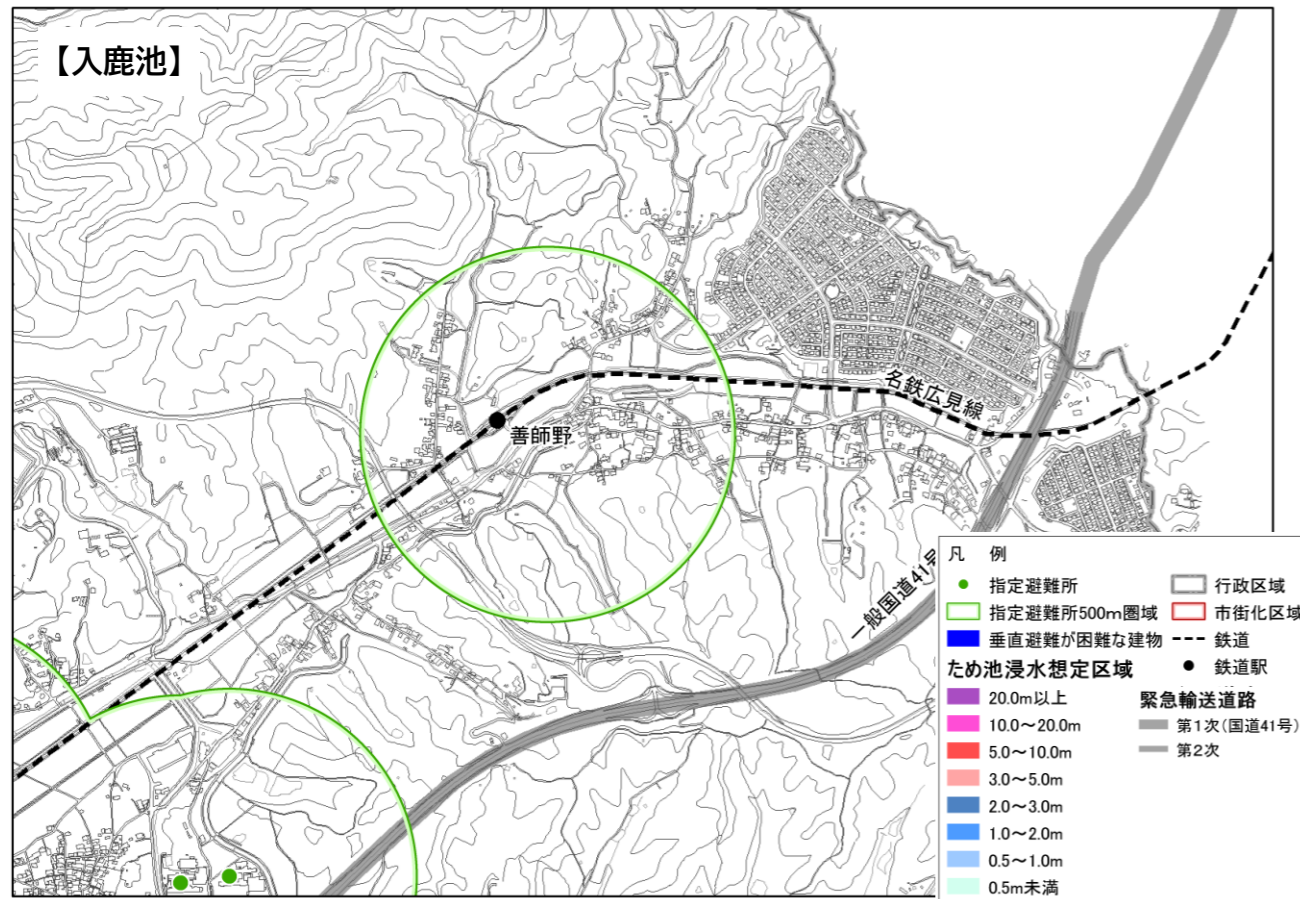
⑦栗栖地区



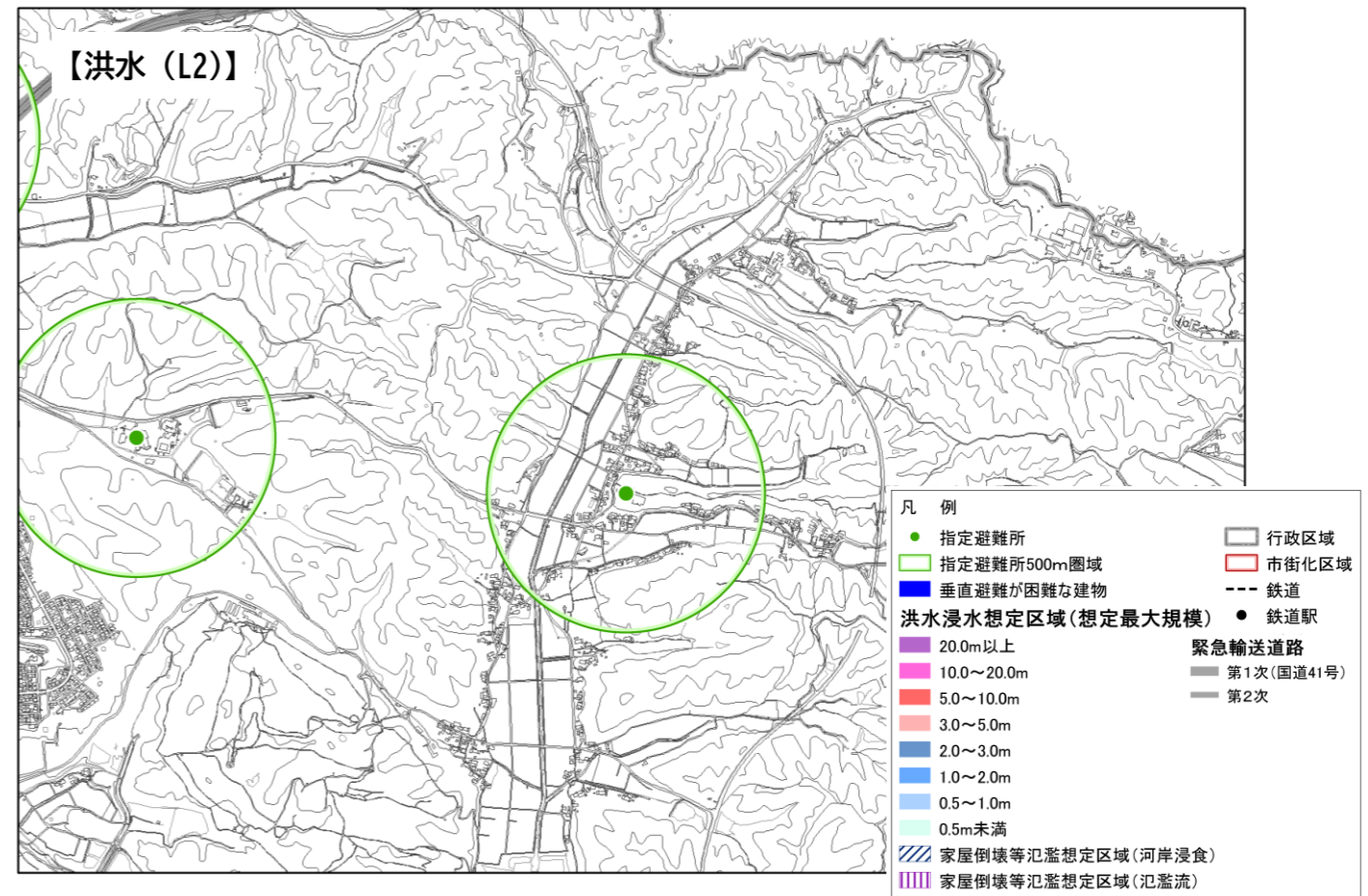
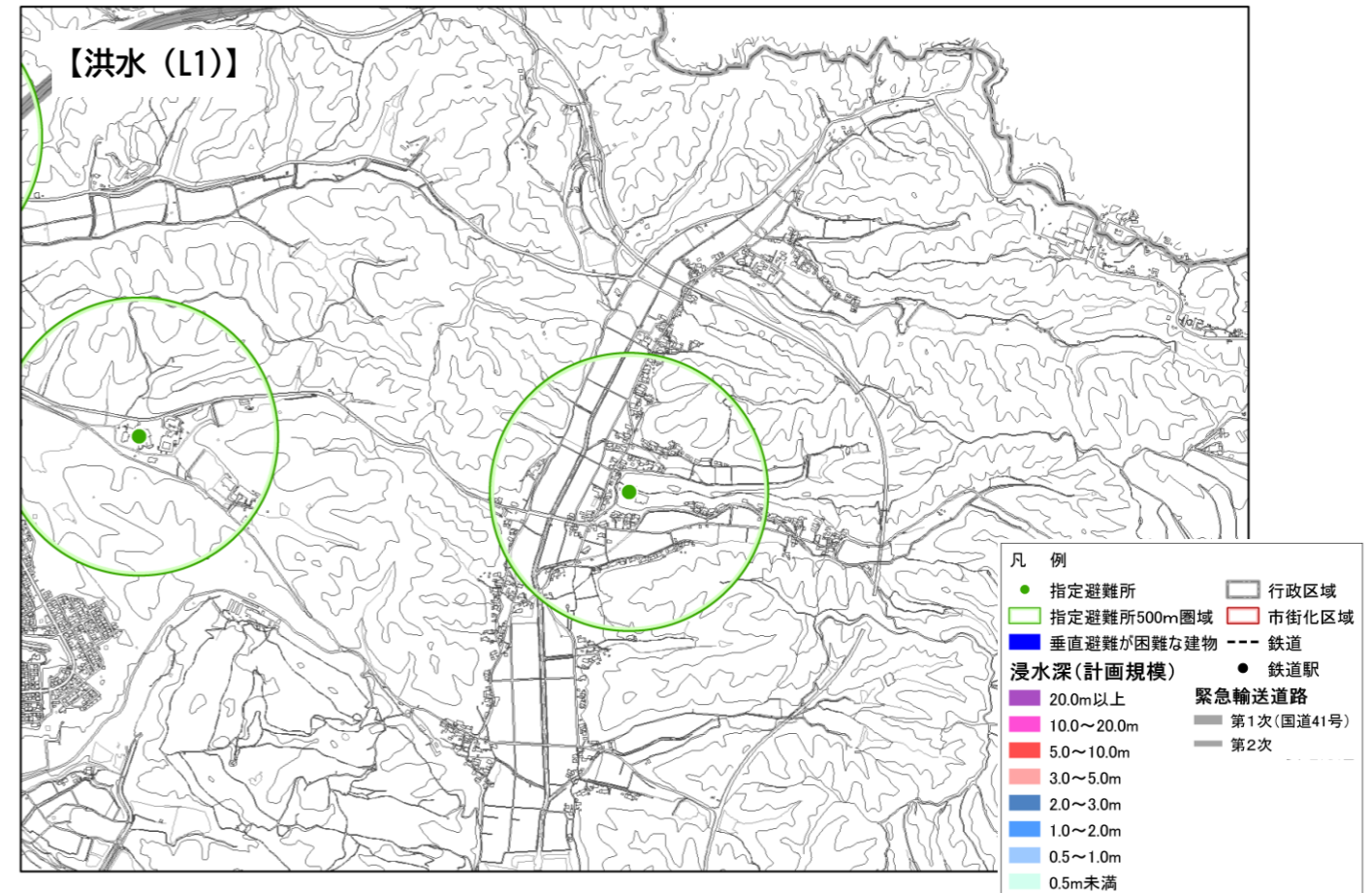
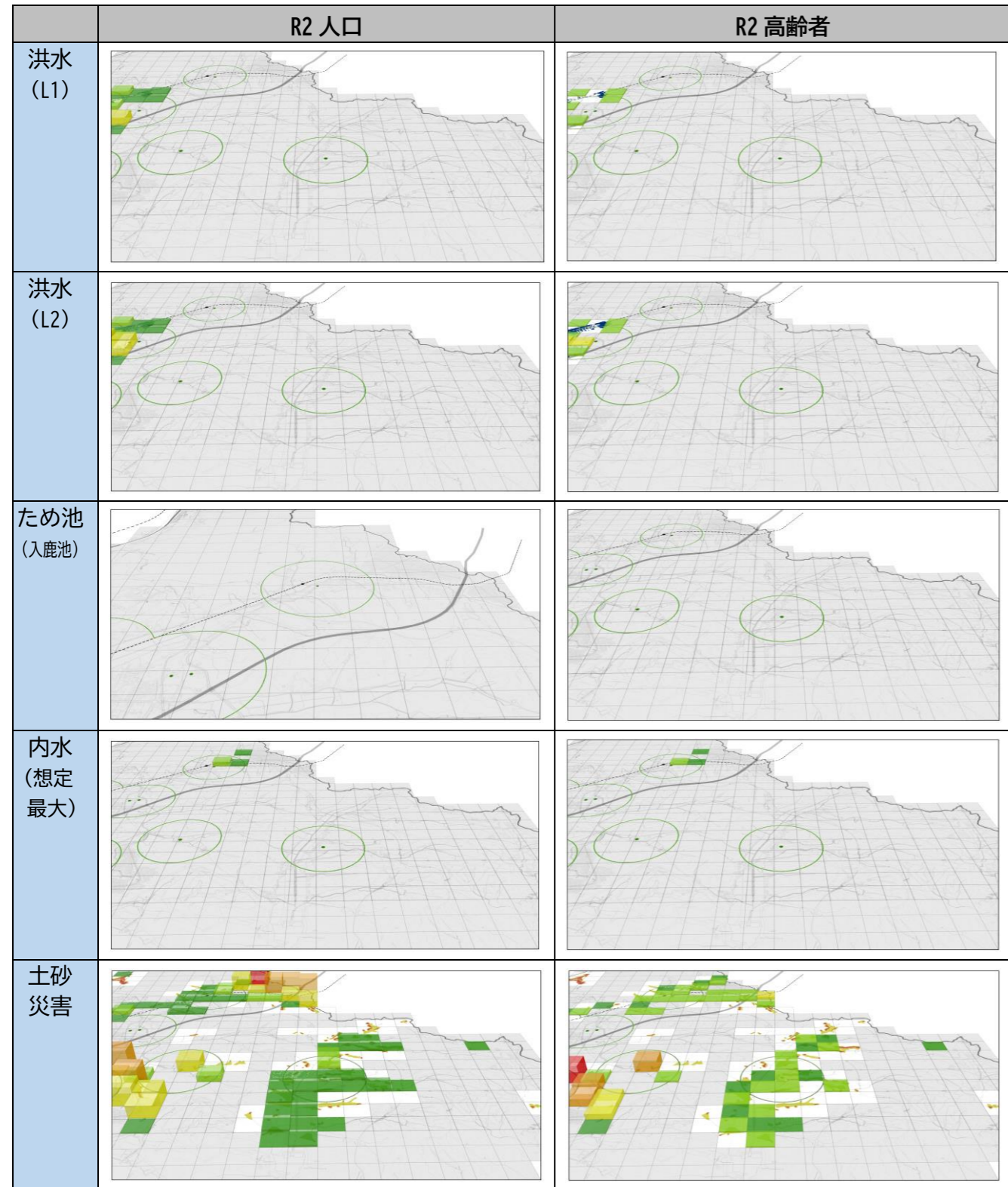


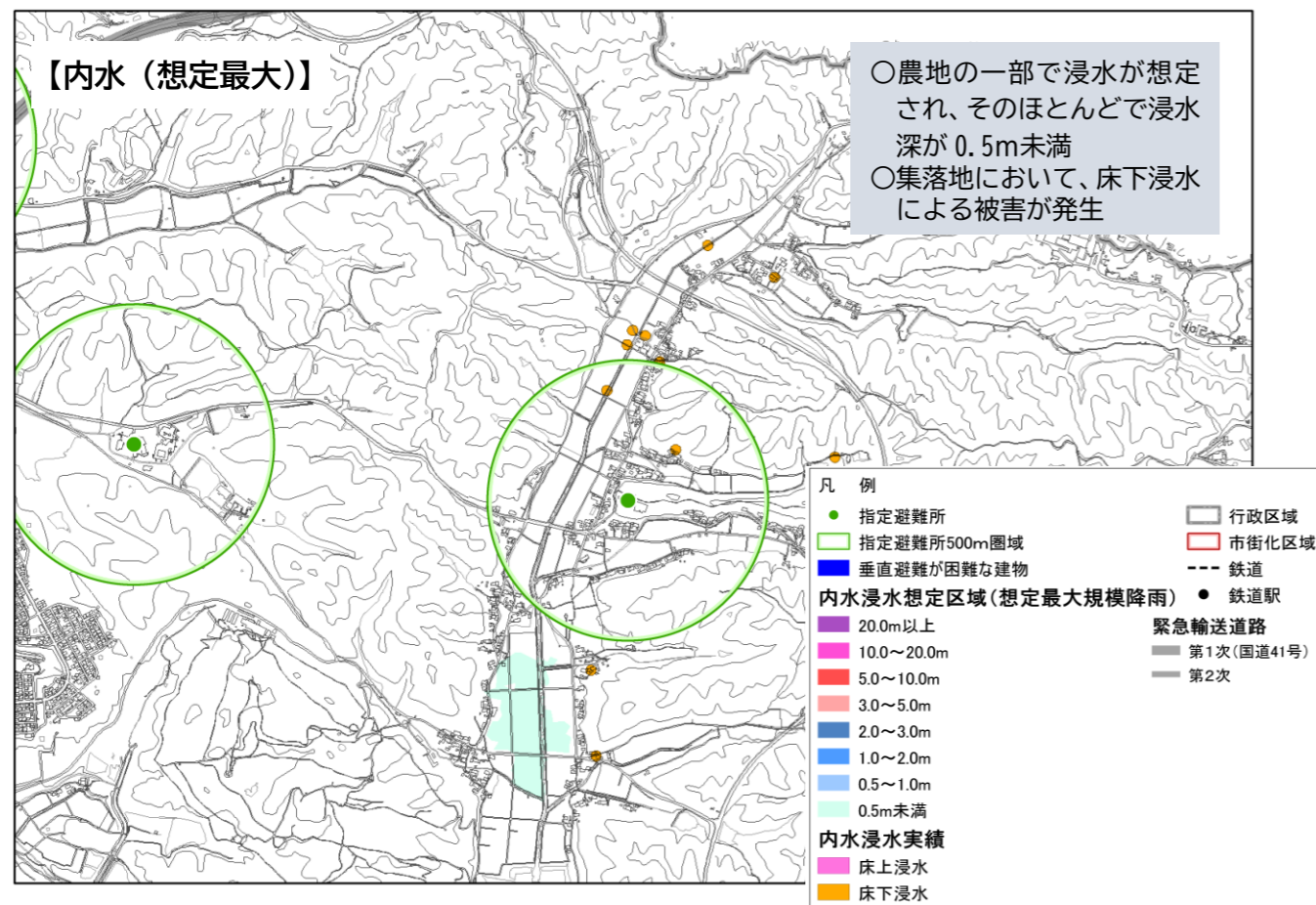
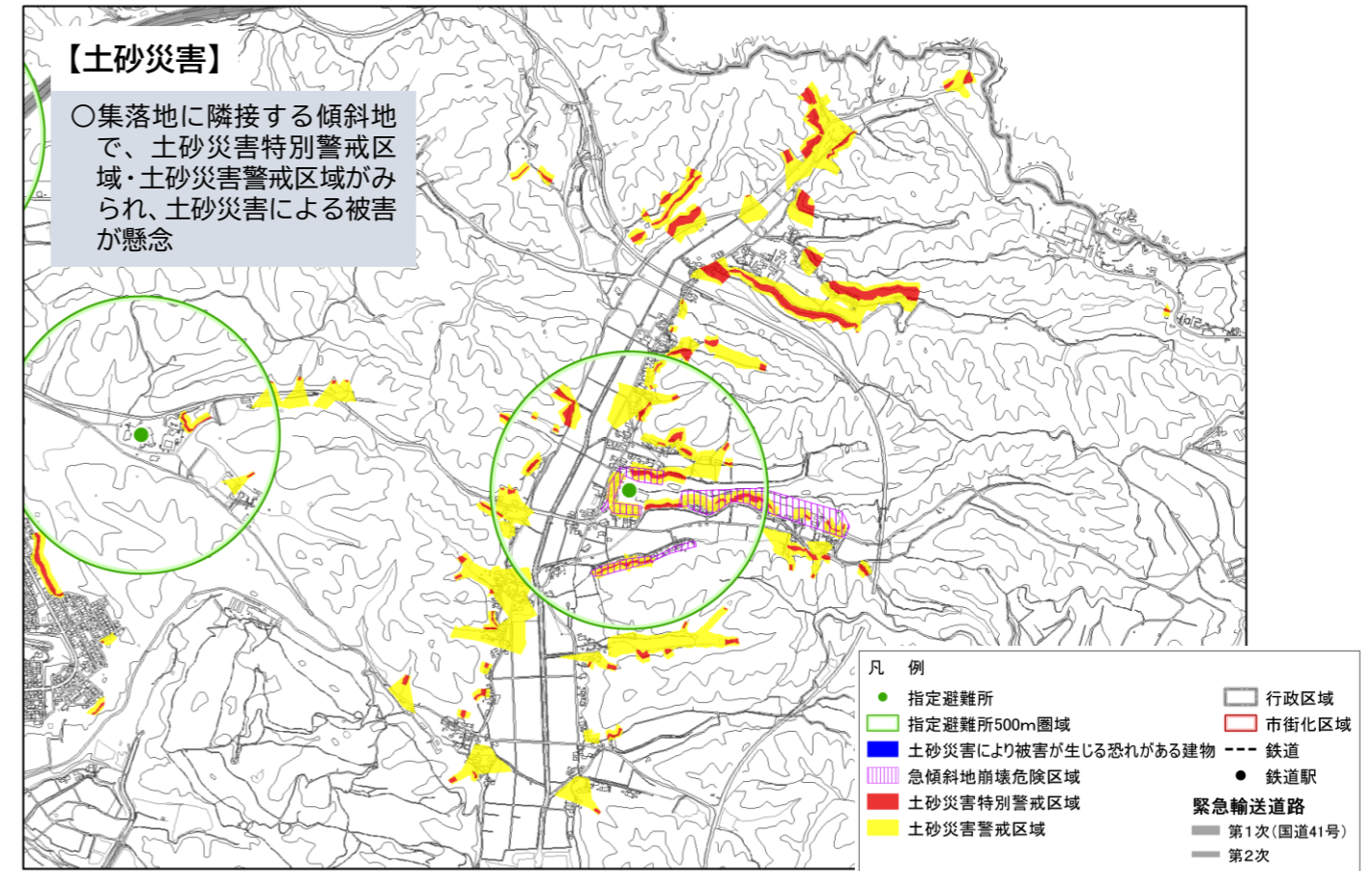
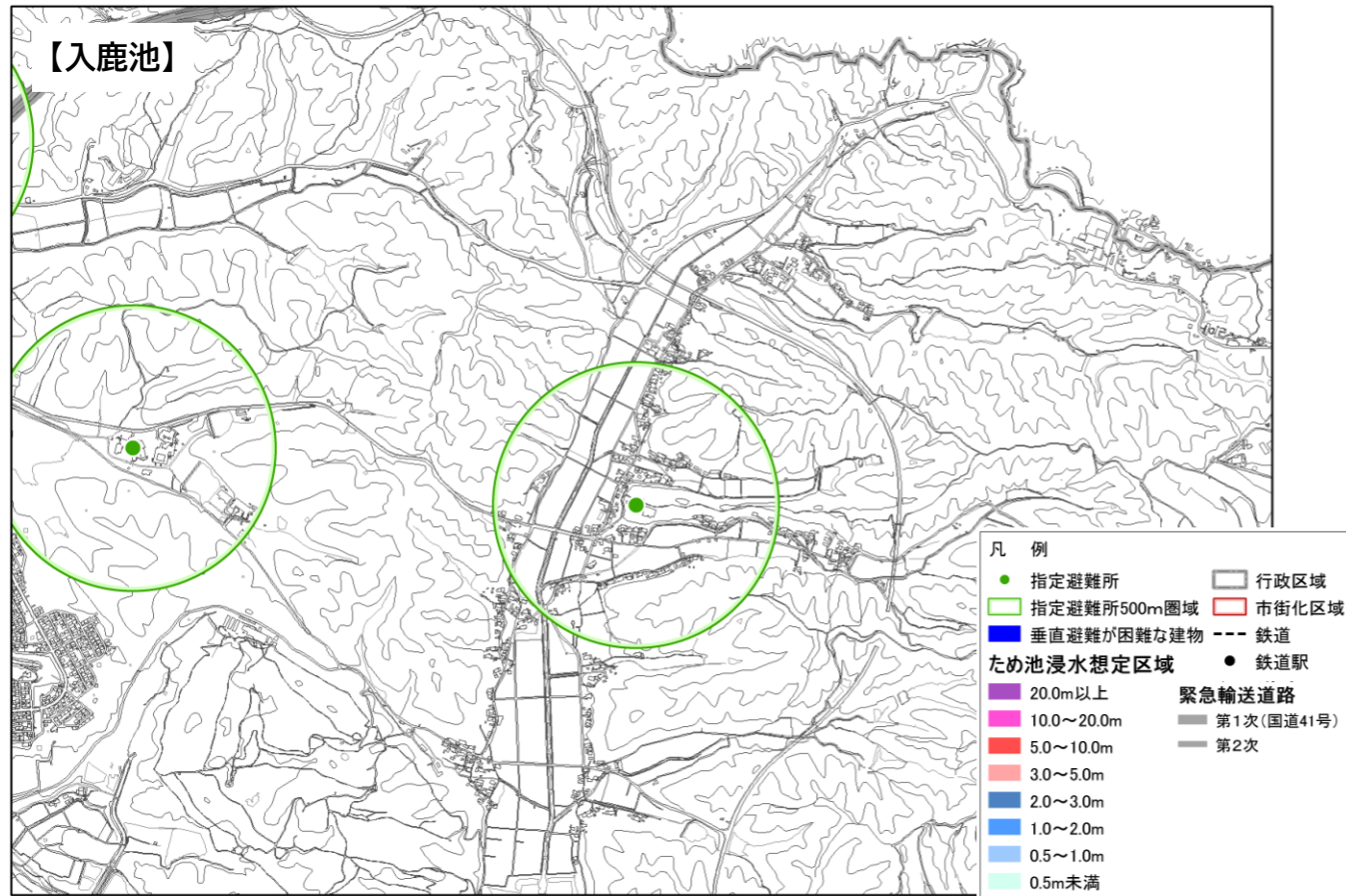
⑧善師野地区



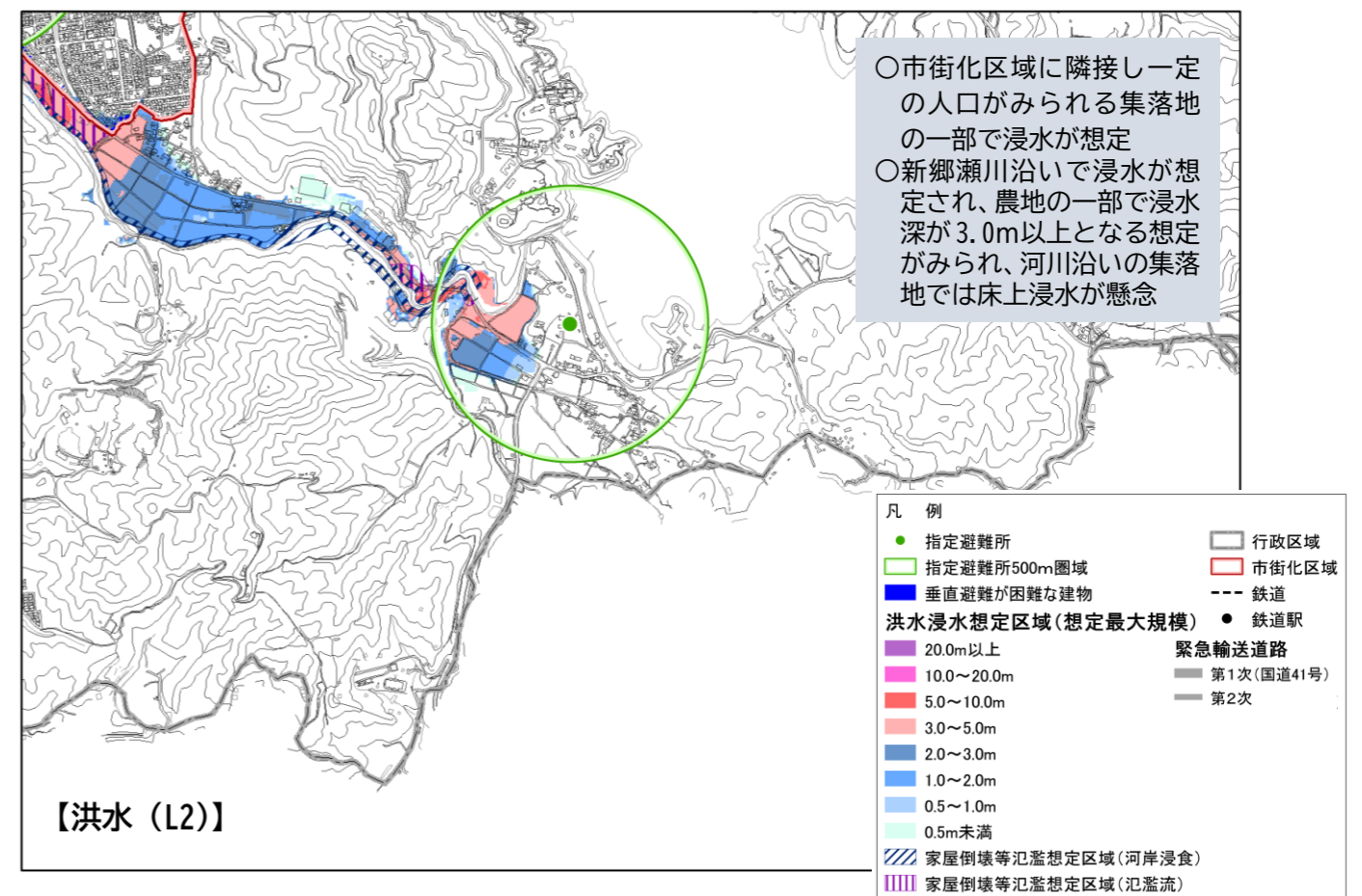
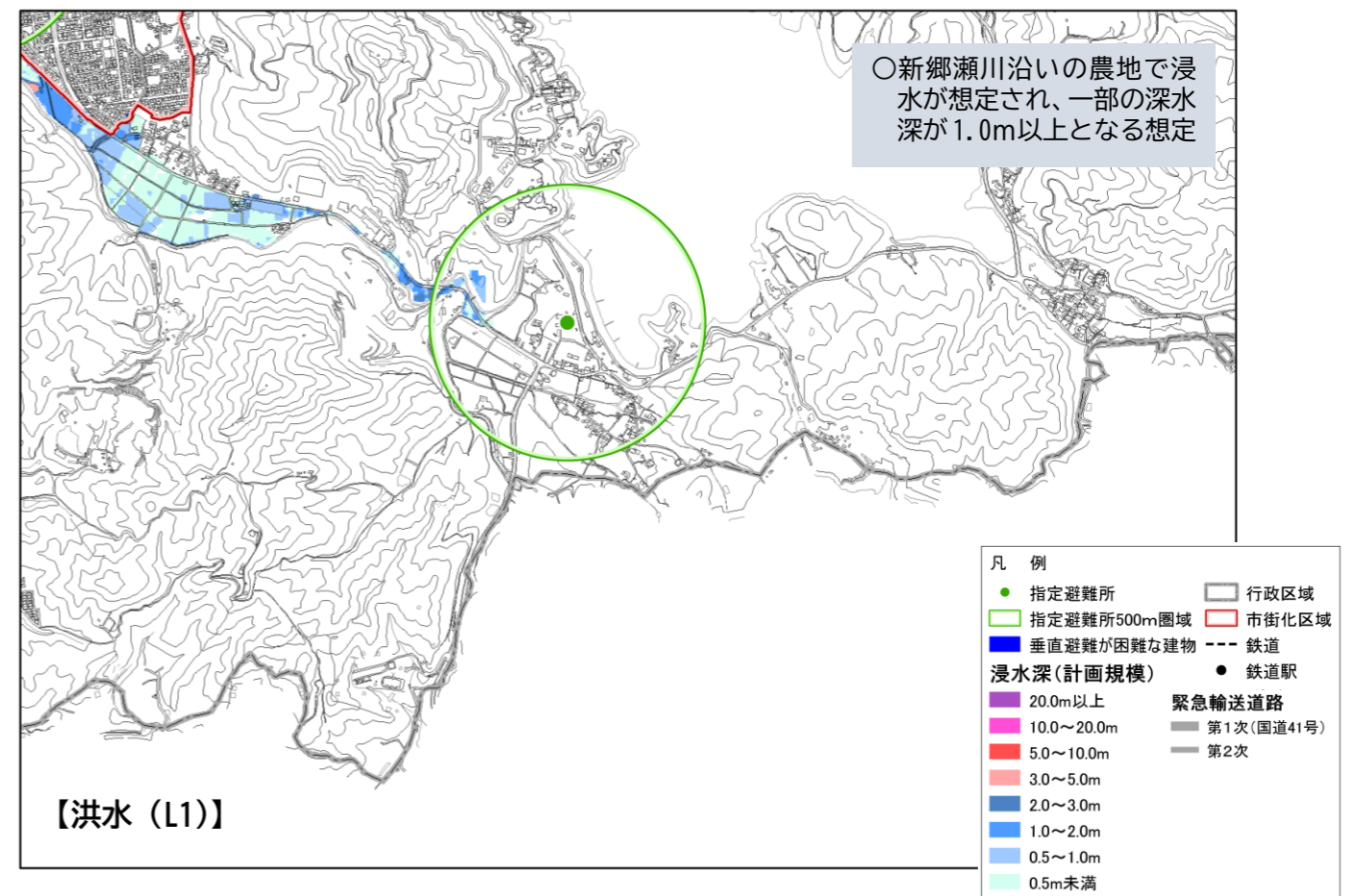
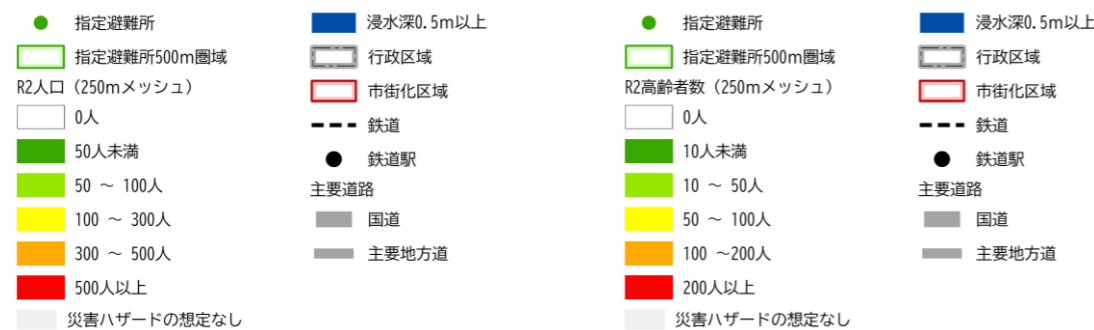
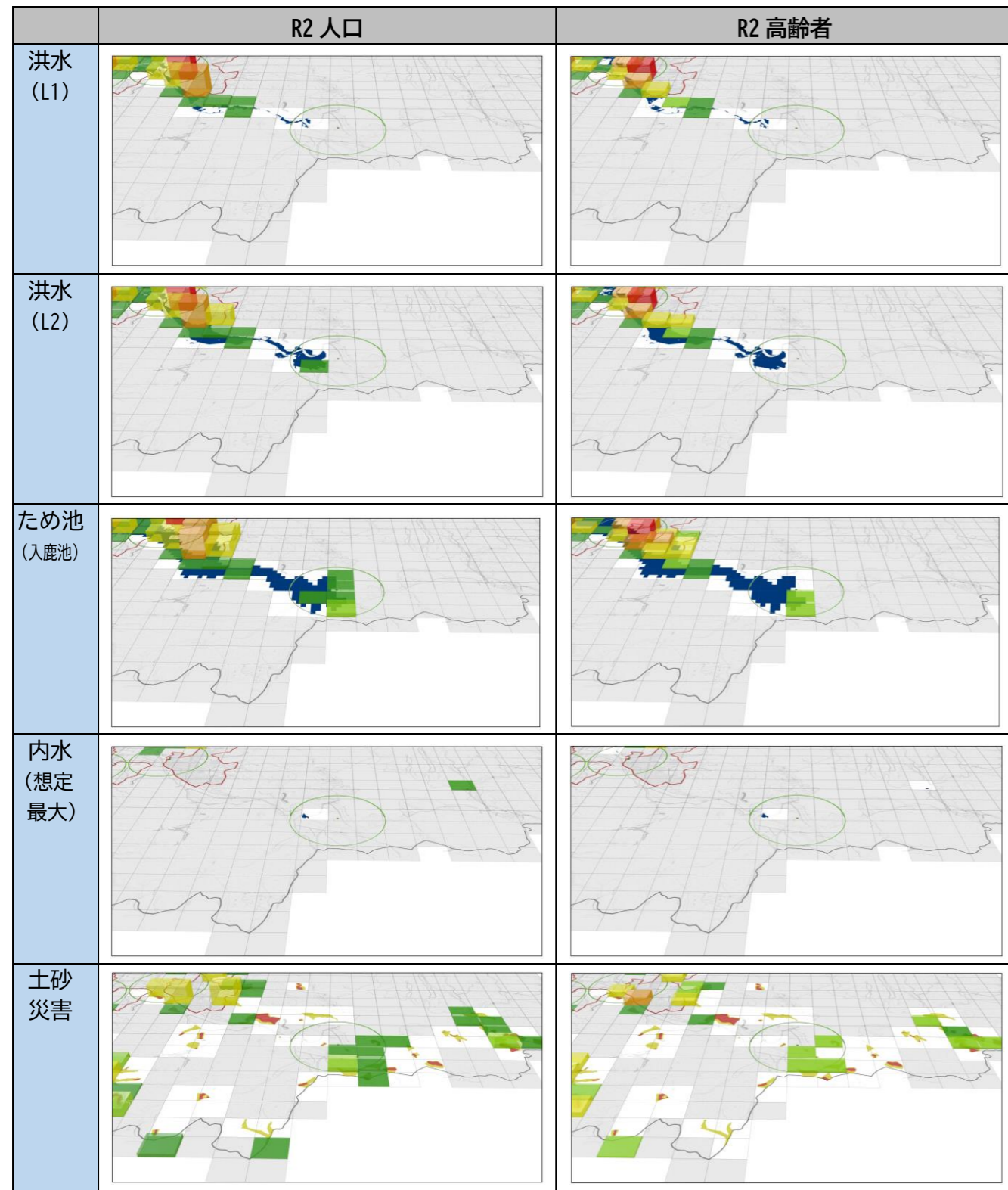


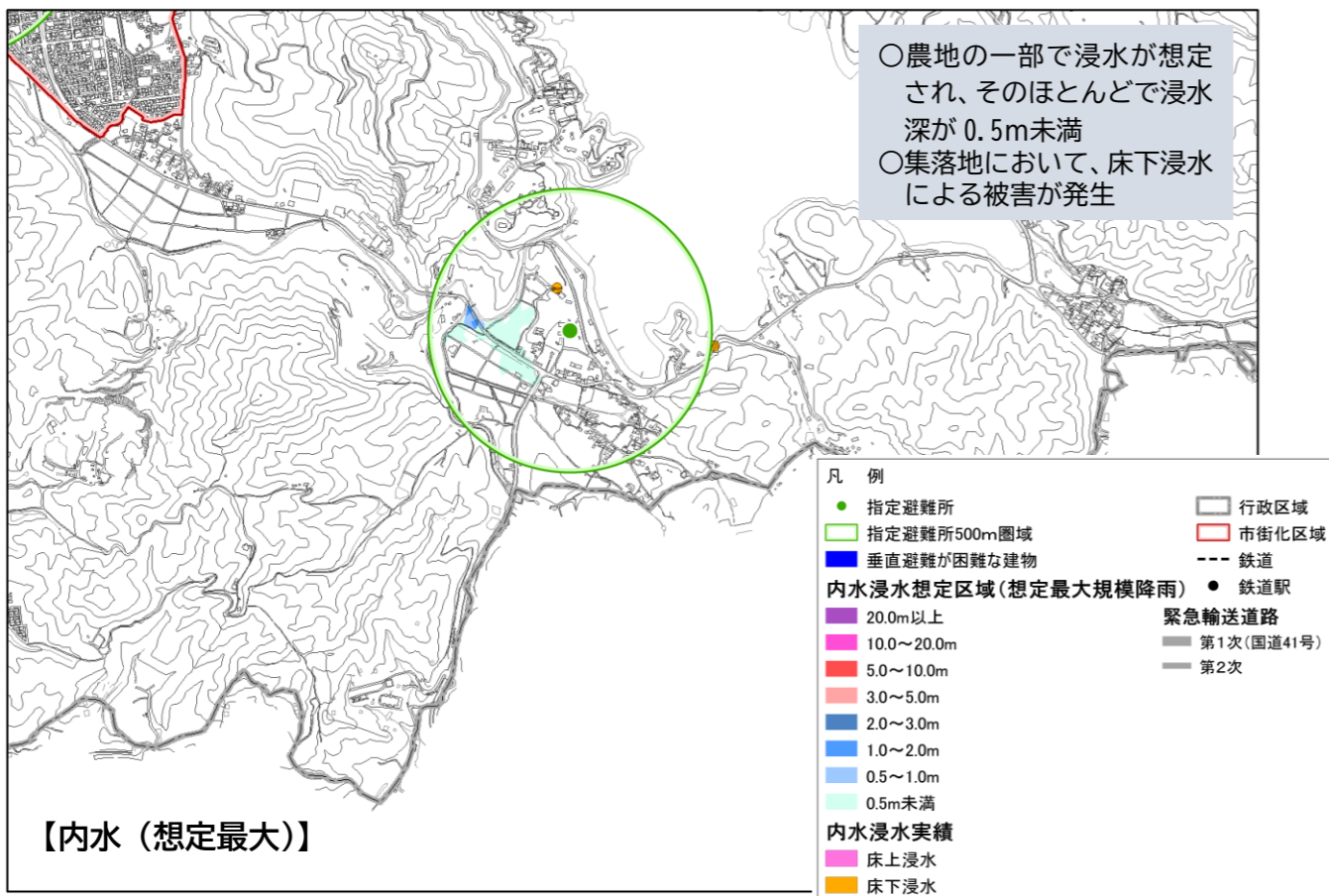
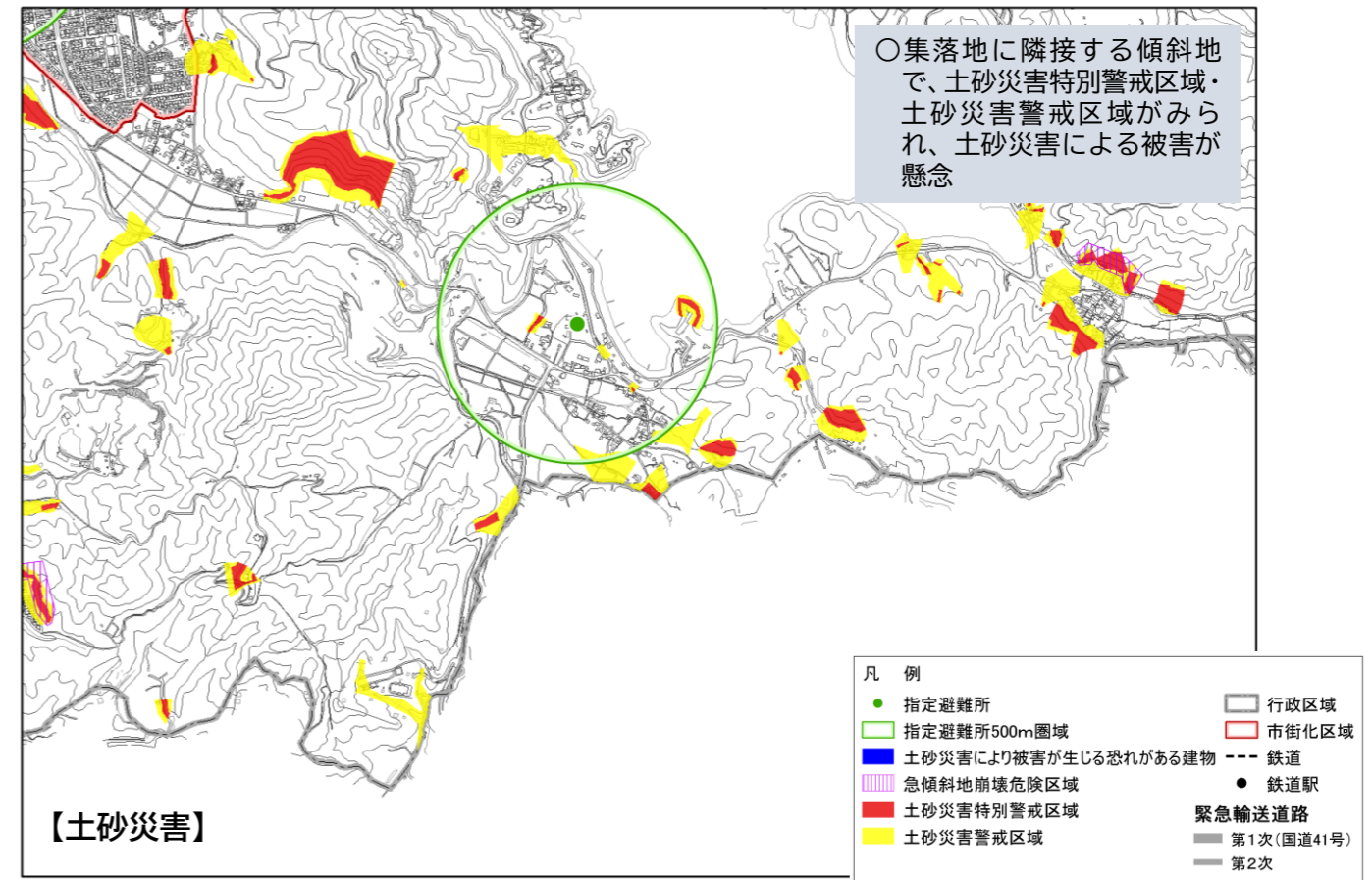
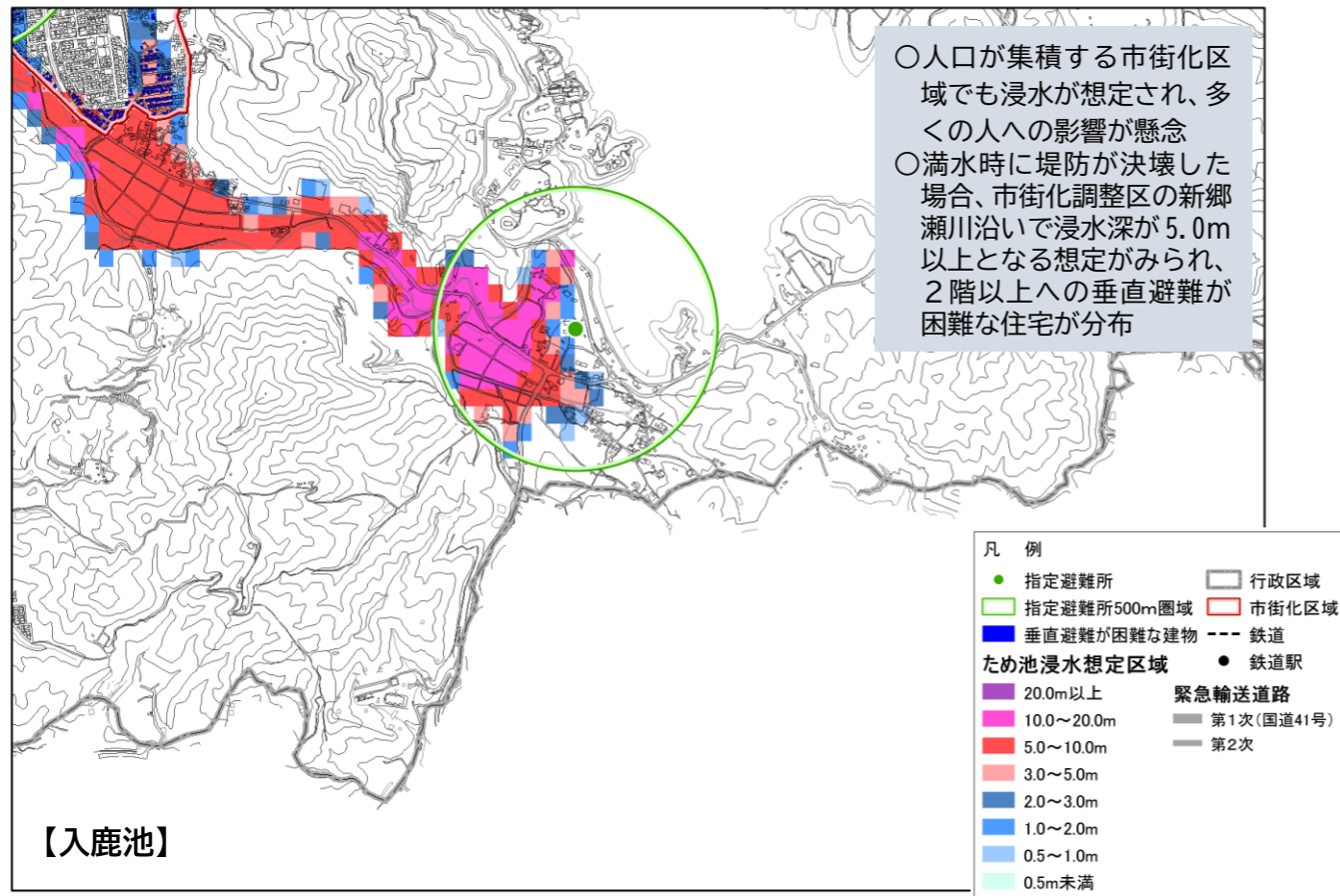
⑨今井地区





⑩池野地区





(4) 地区ごとの防災上の課題の整理

以上より、地区ごとの防災上の課題を整理します。

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
犬山地区 A	洪水 (L1)	○木津用水駅北側の一宮犬山線沿道で局所的に浸水が想定されています。	➡洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○人口が集積する木津用水の西側の広い範囲で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○木津用水の西側で浸水深が 3.0m以上になると想定され、2階以上への垂直避難が困難な建物が分布しています。 ○木曾川沿いの地域で、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要
	内水	○市街化区域内の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未満となっています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	—	—
	土砂災害	—	—
犬山地区 B	洪水 (L1)	○犬山城東側の低地において浸水深が 1.0m以上になる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡洪水を防ぐための河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○人口が集積する犬山城の東側地域で広範囲の浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○犬山城東側の低地から犬山遊園駅周辺の一帯にかけて浸水深 3.0m以上の浸水が想定され、2階以上への垂直避難が困難な住宅が分布しています。 ○木曾川沿いの内田地区において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食、氾濫流）がみられ、木造家屋等への被害が懸念されます。 ○郷瀬川沿いで家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要
	内水	○犬山城東側の低地において浸水が想定され、一部では浸水深が 0.5m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡市民等による浸水対策や防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	—	—
	土砂災害	○犬山遊園駅東側や犬山城周辺、犬山北小学校南側の河岸段丘となっている箇所、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
犬山地区 C	洪水 (L1)	○郷瀬川、新郷瀬川沿いの農地を中心に広い範囲で浸水が想定されています。	➡洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○郷瀬川、新郷瀬川沿いの農地を中心に、人口が集積する市街化区域の一部や、市街化調整区域の住宅団地、集落地でも浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○市街化区域の一部や、市街化調整区域の住宅団地では、浸水深が 1.0m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。 ○新郷瀬川や半ノ木川、合瀬川沿いで家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要 ➡農地における遊水機能の維持が必要
	内水	○市街化区域の広い範囲や市街化調整区域の農地、住宅団地、集落地で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未満となっているが、局所的に 0.5m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	○満水時に堤防が破堤した場合、市街化区域の一部や、市街化調整区域の住宅団地や集落地で浸水深 0.5m以上の浸水が想定され、床上浸水が懸念されます。	➡万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要
	土砂災害	○犬山駅北西にある河岸段丘となっている箇所や富岡前駅の北側で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
羽黒地区	洪水 (L1)	○人口が集積する市街化区域の全域で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○市街化区域の全域で浸水が想定され、一部で浸水深が 0.5m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○人口が集積する市街化区域の全域で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます ○市街化区域の全域で浸水が想定され、五条川沿いでは浸水深 1.0m以上の地域が広がり、床上浸水が懸念されます。 ○五条川や半ノ木川沿いで家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要
	内水	○人口が集積する市街化区域の全域で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○市街化区域の全域及び市街化調整区域の集落地で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未滿となっています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	○人口が集積する市街化区域の全域で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○満水時に堤防が決壊した場合、市街化区域全域及び市街化調整区の広い範囲で浸水深が 0.5m以上となり、集落地の一部では浸水深 3.0m以上となる想定もみられ、2階以上への垂直避難が困難な建物が分布しています。	➡万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要
	土砂災害	—	
楽田地区	洪水 (L1)	○市街化区域内の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未滿となっています。	➡洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○人口が集積する楽田駅東側や西楽田団地で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○市街化区域の広範囲で浸水深が 0.5m未滿の浸水が想定され、楽田駅東側では浸水深が 1.0m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要
	内水	○人口が集積する市街化区域の全域で浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○市街化区域の全域及び市街化調整区域の集落地で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未滿となっています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	○満水時に堤防が決壊した場合、市街化区域全域及び市街化調整区の広い範囲で浸水が想定され、一部では浸水深が 0.5m以上の想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要
	土砂災害	○市街化調整区域東部の傾斜地で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
緑ヶ丘・長者町地区	洪水 (L1)	○新郷瀬川沿いで浸水が想定され、農地の一部で浸水深が 2.0m以上となる想定もみられ、河川沿いの住宅等への影響が懸念されます。	➡洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○新郷瀬川沿いで浸水が想定され、局所的に住宅団地への影響が懸念されます。 ○新郷瀬川沿いで浸水が想定され、市街化調整区域の集落地の一部では浸水深が 2.0m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。 ○新郷瀬川や五条川沿いで家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食、氾濫流）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要
	内水	○市街化調整区域の集落地の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未滿となっています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	○人口が集積する市街化区域でも浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○満水時に堤防が決壊した場合、市街化区域の一部及び市街化調整区の新郷瀬川沿いで浸水深が 3.0m以上となる想定がみられ、2階以上への垂直避難が困難な住宅が分布しています。	➡万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要
	土砂災害	○市街化区域東側の傾斜地や新郷瀬川沿いで、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
栗栖地区	洪水 (L1)	—	—
	洪水 (L2)	○木曾川沿いで家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）がみられ、家屋等への被害が懸念されます。 ○県道栗栖犬山線が家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）と重複しており、栗栖の集落地が孤立することが懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策や防災意識の向上が必要 ➡集落地で想定される孤立対策が必要
	内水	○集落地の一部で浸水深が 0.5m以上となる想定もみられ、床上浸水が懸念されます。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	—	—
	土砂災害	○集落地東側の傾斜地で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。 ○県道栗栖犬山線が土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域と重複しており、栗栖の集落地が孤立することが懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害の危険性が高い区域での住宅の立地規制や傾斜地の崩壊対策が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要
善師野地区	洪水 (L1)	—	—
	洪水 (L2)	—	—
	内水	○名鉄広見線沿線（善師野駅東側）にある農地の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未満となっています。 ○集落地において、床下浸水による被害が発生しています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	—	—
	土砂災害	○住宅団地や集落地に隣接する傾斜地で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要

地区名	災害ハザードの現状		防災上の課題
今井地区	洪水 (L1)	—	—
	洪水 (L2)	—	—
	内水	○農地の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未満となっています。 ○集落地において、床下浸水による被害が発生しています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	—	—
	土砂災害	○集落地に隣接する傾斜地で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害の危険性が高い区域での住宅の立地規制や傾斜地の崩壊対策が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要
池野地区	洪水 (L1)	○新郷瀬川沿いの農地で浸水が想定され、一部の浸水深が 1.0m以上となる想定もみられます。	➡洪水を防ぐための河川改修等が必要
	洪水 (L2)	○市街化区域に隣接し一定の人口がみられる集落地の一部で浸水が想定されています。 ○新郷瀬川沿いで浸水が想定され、農地の一部で浸水深が 3.0m以上となる想定がみられ、河川沿いの集落地では床上浸水が懸念されます。	➡洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要 ➡農地における遊水機能の維持が必要
	内水	○農地の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が 0.5m未満となっています。 ○集落地において、床下浸水による被害が発生しています。	➡内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡雨水排水施設等の整備が必要
	入鹿池	○人口が集積する市街化区域でも浸水が想定され、多くの人への影響が懸念されます。 ○満水時に堤防が決壊した場合、市街化調整区の新郷瀬川沿いで浸水深が 5.0m以上となる想定がみられ、2階以上への垂直避難が困難な住宅が分布しています。	➡万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要
	土砂災害	○集落地に隣接する傾斜地で、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域がみられ、土砂災害による被害が懸念されます。	➡土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要 ➡土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要
全地区	地震	○南海トラフで発生した場合、本市全域で概ね震度5強の揺れが想定され、建物等への被害が懸念されます。	➡建物倒壊等の2次被害を防止する対策が必要

(5) 防災まちづくりの考え方、取組方針の検討

①防災まちづくりの考え方

本市における中・高頻度（計画規模）で発生する洪水による浸水は、郷瀬川・新郷瀬川等の市内を流れる河川からの洪水により、犬山遊園駅西側や羽黒駅周辺の市街地で浸水がみられ、また、内水による浸水については市街化区域全域で見られますが、どちらの浸水もそのほとんどが床上浸水の目安となる浸水深 0.5m未満の地域であることや、0.5m以上の浸水深が想定される区域も局地的であることを踏まえ、災害リスクの周知徹底など警戒避難体制の整備や河川整備などハード・ソフトの防災・減災対策により災害の防止、軽減に向けた取り組みを推進することとします。

一方、低頻度（想定最大規模）で発生する洪水による浸水は、発生する確率は非常に低い一方で、河川整備等のハード対策では対処が困難となる大規模な洪水を想定しており、都市の基盤となる都市機能や居住地が広範囲に含まれ、ハード対策による浸水の解消が見込めないことから、警戒避難体制の充実・強化などソフト対策により対応していくこととします。

土砂災害については、住宅などが損壊し、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域とされる土砂災害特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外する一方、土砂災害警戒区域については、土砂災害特別警戒区域と重複した箇所を除くと、さらに区域が限定的となり、届出制度に関わる一定規模以上の開発行為、建築等行為が考えにくいこと、また、当該区域の居住者に対しては、災害リスクの周知徹底や避難情報等を早期に伝達できる仕組みづくりなど警戒避難体制の整備を講じており、今後も引き続き行政と住民が連携して警戒避難体制の充実・強化を図ることとします。

上記の他、入鹿池の浸水想定区域は、入鹿池が満水状態の時に堤体が決壊し、全量が流出した場合の想定となっていますが、学識経験者らで構成する「入鹿池耐震性検証委員会(2012～2014 年度)」において、大規模地震に対する耐震性の検証を行い、「想定される大規模地震(南海トラフ地震等)に対し、耐震性能を有している。」という結果が出ていることを踏まえ、日常の点検や管理により堤体の健全性が維持されることを前提に、万が一の事態から身を守るための防災意識の向上を図ります。

②取組方針

防災まちづくりの考え方を踏まえ、各地区における課題に対応した取組方針を整理します。

課題	地区単位										取組方針	
	●：居住誘導区域 ○：居住誘導区域外（参考）											
	犬山A	犬山B	犬山C	羽黒	桑田	長者町	緑ヶ丘	栗栖	善師野	今井		池野
洪水 (L1)、(L2)												
→洪水被害を防止、軽減する河川改修等が必要		●		●								◇国・県・市の連携、協力によるハード、ソフトを組み合わせた浸水対策の推進
→洪水から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要	●	●	●	●	●	●					○	◇想定される災害リスクの周知徹底 ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
→洪水リスクを踏まえた住宅等における浸水対策が必要	●	●	●	●	●	●	○				○	◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
→農地における遊水機能の維持が必要			●									◇遊水機能により住宅地の浸水抑制が期待される農地の適切な保全
→集落地で想定される孤立対策が必要								○				◇孤立の可能性のある地域へとつながる道路整備の推進
内水												
→内水氾濫から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	◇想定される災害リスクの周知徹底 ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
→雨水排水施設等の整備が必要	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
入鹿池												
→万が一の事態から身を守るための防災意識の向上が必要			●	●	●	●					○	◇想定される災害リスクの周知徹底
土砂災害												
→土砂災害から身を守るための避難対策、防災意識の向上が必要		●	●		○	●	○	○	○	○	○	◇想定される災害リスクの周知徹底 ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
→土砂災害リスクを踏まえた住宅等の安全対策が必要		●	●		○	●	○	○	○	○	○	◇災害リスクが高い区域における住宅等の安全（回避）対策の促進
地震												
→建物倒壊等の2次被害を防止することが必要	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	◇建物等の耐震化、倒壊対策や延焼防止対策の促進

(6) 居住誘導区域における具体的な取組、スケジュール ※スケジュール、目標値等、今後検討します。

①具体的な取組

取組方針に基づき、居住誘導区域において次の具体的な取組を推進します。

種別	取組方針	具体的な取組
共通	◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■地域防災力・企業防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災力や企業防災力を向上させるため、校区・自主防災組織等による防災訓練・初期消火訓練や、事業所における防災訓練・消防訓練を充実・強化に努めます。 住民主体の実践的な防災訓練を自ら企画・運営する中で防災コミュニティの醸成を図る取組を推進します。 <p>■人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災活動の活性化の一助となることを期待し、継続して計画的に「防災人材」を養成します。また、児童・学校・自治会が連携した地域における防災活動を推進します。 <p>■効果的な教育・啓発等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災知識を普及させるため、住民、教育機関、企業等へ出前講座を実施します。 <p>■地区防災計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 自助・共助による地域の自発的な防災活動の促進に向けて、地域住民と事業所等が連携した地区防災計画の策定を支援します。 <p>■要配慮者等への支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時において避難行動要支援者の安否確認や避難誘導等が円滑に行えるよう、日頃から避難行動要支援者の把握に努めるとともに地域と連携して支援体制の整備に取り組みます。 <p>■事前復旧・復興体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模自然災害が発生した場合に、迅速かつ円滑な復旧、復興に取り組むことができるよう、県と連携して復興計画や体制を検討する取組を進めます。

種別	取組方針	具体的な取組
洪水	◇想定される災害リスクの周知徹底	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■洪水による浸水ハザードの効果的な周知啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の洪水浸水想定区域図や浸水予想図が公表されたとき、又は、作成した場合は、早期に浸水ハザードマップを作成し、住民等への周知啓発を行います。
	◇国・県・市の連携、協力によるハード、ソフトを組み合わせた浸水対策の推進	<p>リスクの低減【ハード】 リスクの低減（ソフト）</p> <p>■流域治水対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 国・県・市が連携・協力し、木曾川・庄内川流域における河川改修や流水阻害の防止等のハード対策を推進しながら、適切な維持管理に努めるとともに、河川等の管理者・自治体などによるソフト対策を組み合わせた流域治水に取り組みます。 <p>■市管理河川の耐震化等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の管理する準用河川及び普通河川の河川堤防等の耐震化、老朽化対策等を推進する。
	◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■住宅等における浸水対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水被害を防止、軽減するための対策事例（宅盤の嵩上げや居室を2階に設けるなど）の周知啓発に努めるとともに、浸水被害の状況を踏まえた住宅の改修、移転等に対する支援制度を研究します。
	◇遊水機能により住宅地の浸水抑制が期待される農地の適切な保全	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■農地の適切な保全</p> <ul style="list-style-type: none"> まとまりのある農地については、遊水機能を持ち合わせており、市街地や住宅地への浸水を防止することが期待されるため、無秩序な開発を抑制し、適切な保全に努めます。

種別	取組方針	具体的な取組
内水	◇想定される災害リスクの周知徹底	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■内水氾濫による浸水ハザードの効果的な啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の洪水浸水想定区域図や浸水予想図が公表されたとき、又は、作成した場合は、早期に浸水ハザードマップを作成し、住民等への周知啓発を行います。
	◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進	<p>リスクの低減【ハード】 リスクの低減（ソフト）</p> <p>■主要な雨水排水施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道施設や下水道以外の主要な排水路による排水能力を維持・強化するため浸水被害の状況、想定を踏まえた排水施設の整備、改修等を推進します。 <p>■雨水貯留施設の設置支援・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の住宅敷地内に雨水貯留施設（雨水タンク、雨水浸透マス等）の設置者に対する支援制度の啓発を行います。
入鹿池	◇想定される災害リスクの周知徹底	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■入鹿池が破堤した場合を想定した浸水ハザードの効果的な周知啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の浸水想定区域図が公表されたときは、早期に浸水ハザードマップを作成し、住民等への周知啓発を行います。 <p>（参考）</p> <p>■ため池等の老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺住民の生命・財産を守るため、農業用ため池や調整池は、老朽化対策や地震対策の必要性に応じ、順次整備を推進します。
土砂災害	◇想定される災害リスクの周知徹底	<p>リスクの低減（ソフト）</p> <p>■土砂災害における危険性の効果的な啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害（特別）警戒区域等の指定がなされた地区は、早期に土砂災害ハザードマップを作成し、住民等への周知啓発を行います。また、必要に応じ、住民説明会の開催や避難訓練の指導など、住民の防災意識向上策を講じます。
	◇災害リスクが高い区域における住宅等の安全（回避）対策の促進	<p>リスクの回避</p> <p>■土砂災害対策の推進（移転費用）</p> <ul style="list-style-type: none"> がけ地近接等危険住宅の移転に伴う費用に対する支援制度（住宅・建築物安全ストック形成事業）の啓発を行います。 <p>リスクの低減【ハード】</p> <p>■土砂災害対策の推進（住宅改修費）</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅の土砂災害対策改修費に対する支援制度（住宅・建築物安全ストック形成事業）の啓発を行います。

種別	取組方針	具体的な取組
地震	◇建物等の耐震化、倒壊対策や延焼防止対策の促進	<p>リスクの低減【ハード】 リスクの低減（ソフト）</p> <p>■住宅・建築物等の耐震化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物耐震改修促進計画に基づき、耐震化の必要性の啓発、耐震診断・耐震改修費の支援対策（住宅・建築物安全ストック形成事業）を推進します。 <p>■火災に強いまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難・延焼遮断空間の確保と緊急車両の進入を可能とする狭あい道路の解消を図りつつ、建築物の倒壊・焼失の可能性が高い空き家など老朽建築物の更新、撤去を促進します。 消火栓、耐震性防火水槽を計画的に整備するとともに、既設の消防水利の適切な維持管理を行います。 <p>■家具・機械設備等の転倒防止対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙、防災講話、地域における防災訓練等を通じた家具等の転倒防止対策の啓発について取り組みを強化します。

犬山地区B

- 洪水**
 - ◇国・県・市の連携、協力によるハード、ソフトを組み合わせた浸水対策の推進
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
- 土砂**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇災害リスクが高い区域における住宅等の安全(回避)対策の促進

犬山地区C

- 洪水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
 - ◇遊水機能により住宅地の浸水抑制が期待される農地の適切な保全
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
- ため池**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
- 土砂**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇災害リスクが高い区域における住宅等の安全(回避)対策の促進

羽黒地区

- 洪水**
 - ◇国・県・市の連携、協力によるハード、ソフトを組み合わせた浸水対策の推進
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
- ため池**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備

緑ヶ丘・長者町地区

- 洪水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
- ため池**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
- 土砂**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇災害リスクが高い区域における住宅等の安全(回避)対策の促進

犬山地区A

- 洪水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進

楽田地区

- 洪水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇住宅等における浸水対策の事例周知や支援制度の研究
- 内水**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備
 - ◇浸水被害の状況、想定を踏まえた段階的な雨水排水施設の整備や雨水の流出抑制施策の推進
- ため池**
 - ◇想定される災害リスクの周知徹底
 - ◇地域の特性を踏まえた市民が主体となった避難体制の整備

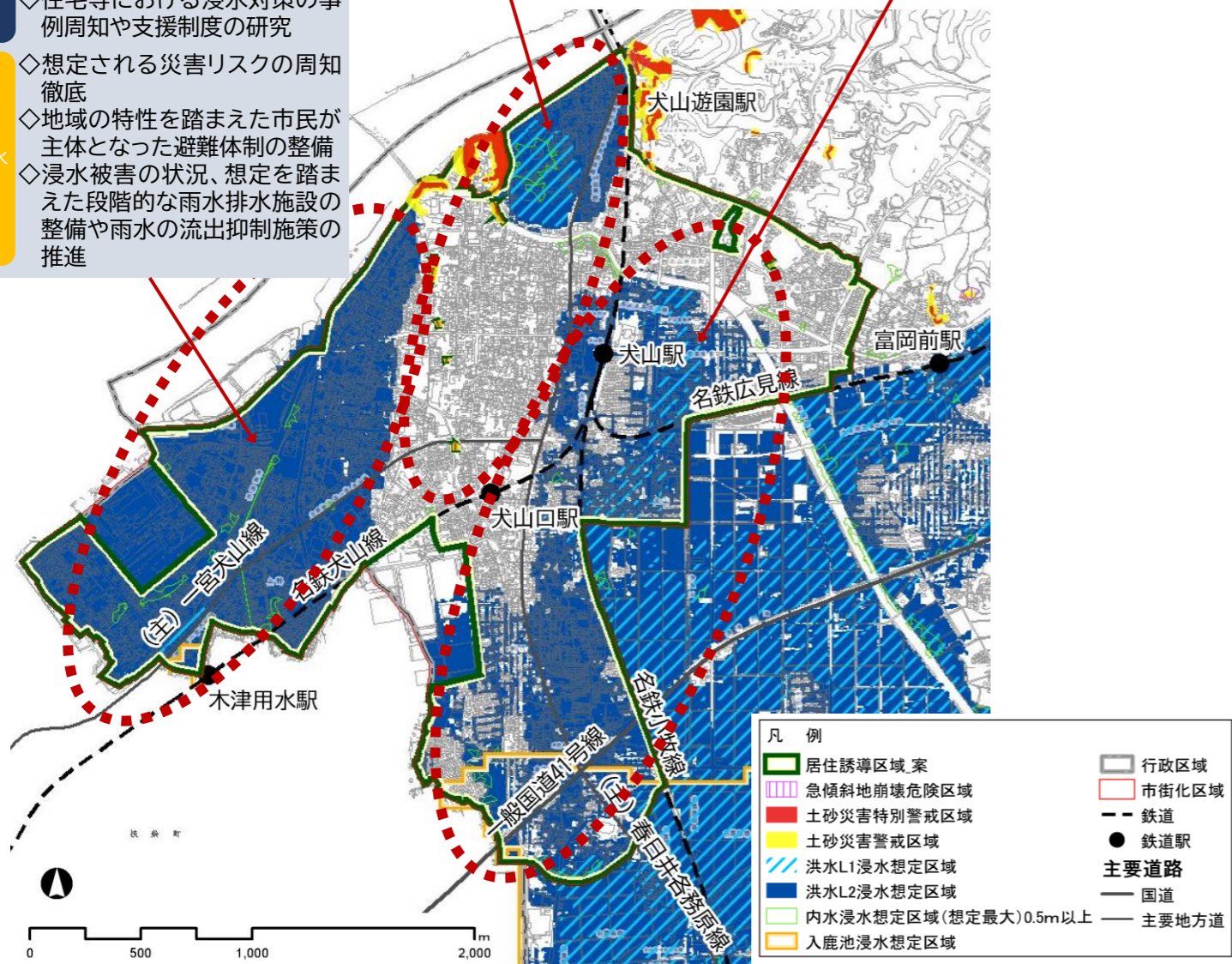


図 各地区の取組方針（居住誘導区域）北部

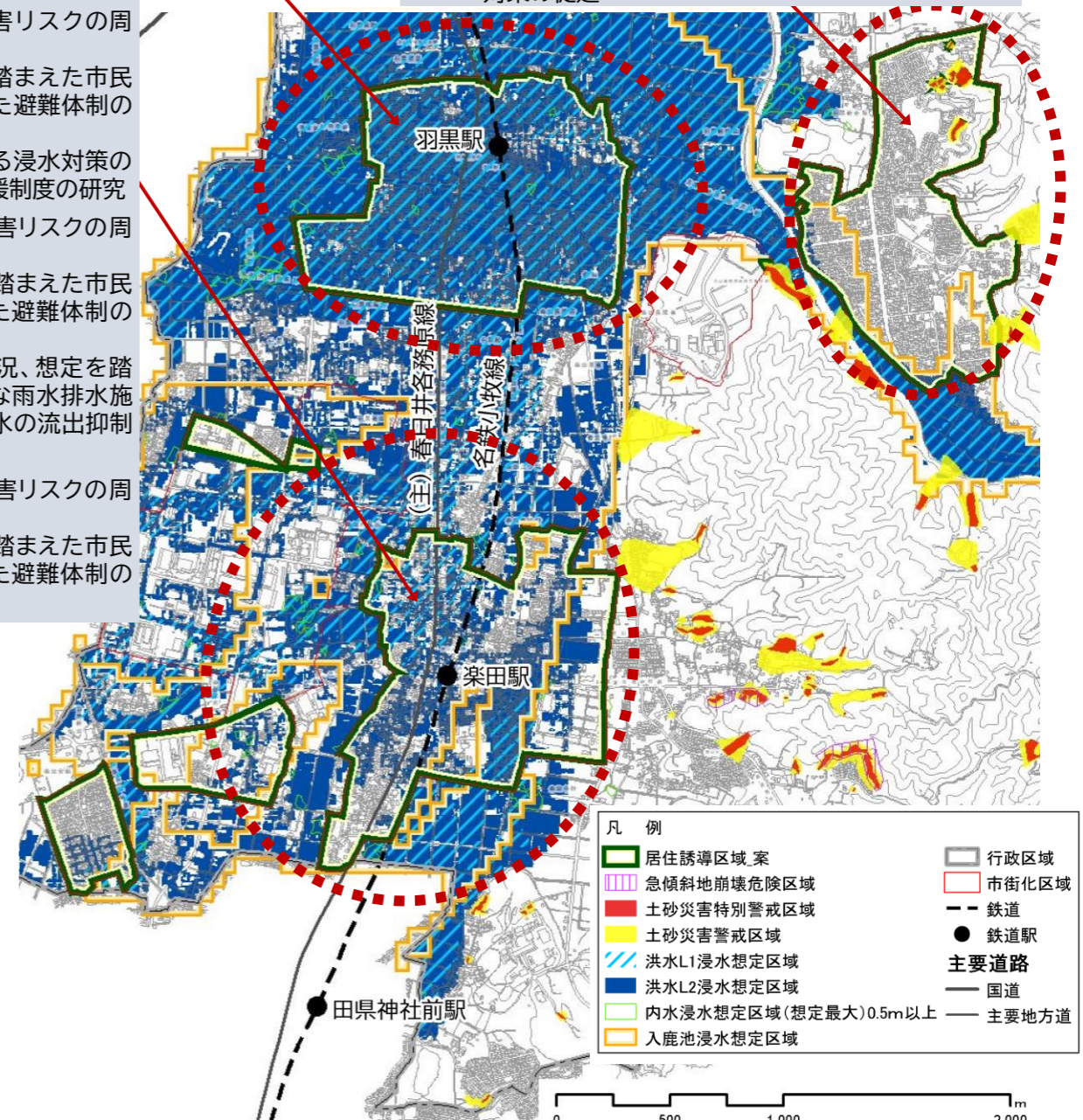


図 各地区の取組方針（居住誘導区域）南部